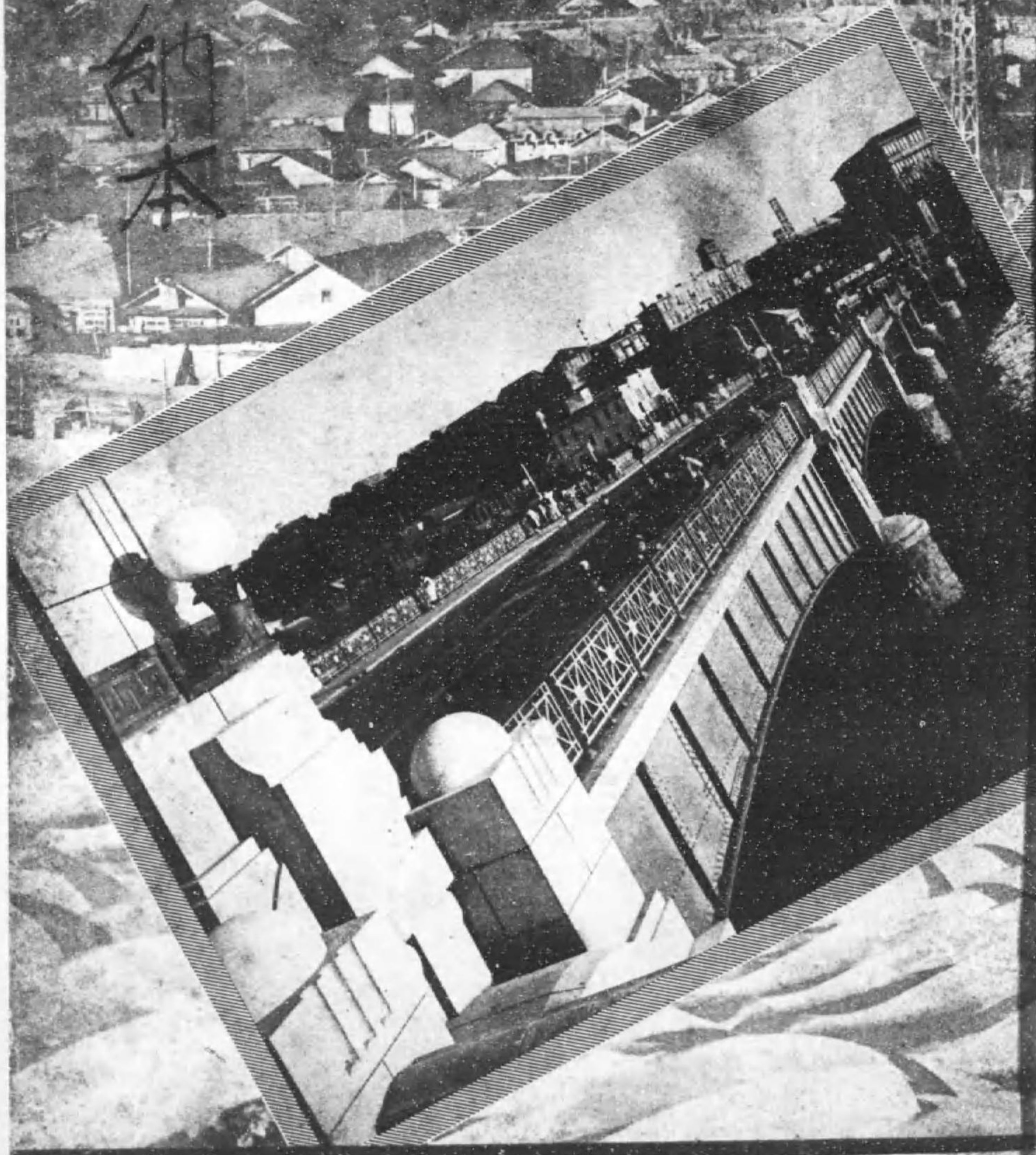


路觀光察內

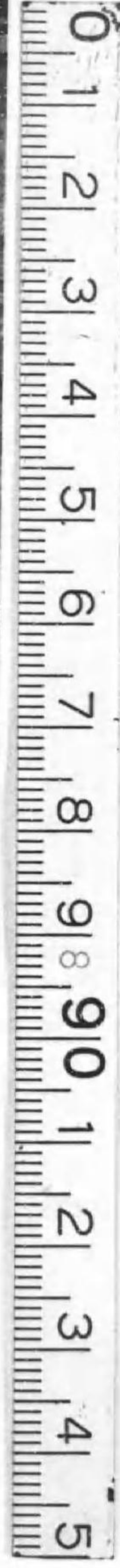
特217

136

御本



鐵路商會會議所



始











部一ノルーホ

サ  
ロ  
ン  
ホ  
ー  
ラ  
ン

地 新 南 橋

ルーホ代近の力魅と美  
スビーサな朗明刺潑

階上ホールの一部



櫻まつりの催し

玉 赤 ドンラダ  
ーエフカ

番二五七話電 町廣末市路鉤





昆布 熊の子  
 熊の子 熊の子  
 まりも 熊の子

郷土味豊かな御菓子  
 平素観光客の御土産と  
 して喜ばれて居ります。

北大通

夕池田商店

電話二三〇番



鉤路の

特産品

通大北市路鉤

店商林平分元 製造發

番五七七 話電  
 (ラヒ)ハ又(七)號略信發  
 番五六六三一樹小座口替振  
 シヤバラヒ ロシク 信受

お茶と昆粉鱈  
 ぼ養ろ布末スソ  
 ろ刻、布 昆キボ  
 昆昆菜 昆キボ  
 布布子茶布身口





中川食料品店

北大通平和市場内  
電話 九八六番

お土産品と  
食料品の店



結城水産工場

所長 結城 三二

釧路市錦町五ノ二  
電話一、〇八六番  
工場 市外鳥取村一四八番地  
敷地 三百坪  
年産額 十萬

營業品目

魚開鮭鱈北鱈鱈  
油鱈クブ海スソ  
製鱈ンリウキホ  
造肥イクニミロ

海産、貿易、水産製造





即席割烹

川魚料理  
天婦羅立食  
喜

多代町  
電話五八一番  
末廣

凝った座敷で  
粹なお遊び



割烹 八千代壽し

電話八一四番





近代明朗なる  
趣味の佳人揃ひ

旅愁のつれに

アラア - エフカ  
地新南橋



鋼路のおいで節は是非

旅の印象はさらに  
華やかな永却忘れ  
得ぬ色彩を添えるでせう!

サロイン富士  
地新北橋



(旅塵を避けて)

(憩ひの一刻)

割烹 梅 林

電話四五三番  
釧路市末廣町

旅の疲れを

駒止で

割烹 駒 止

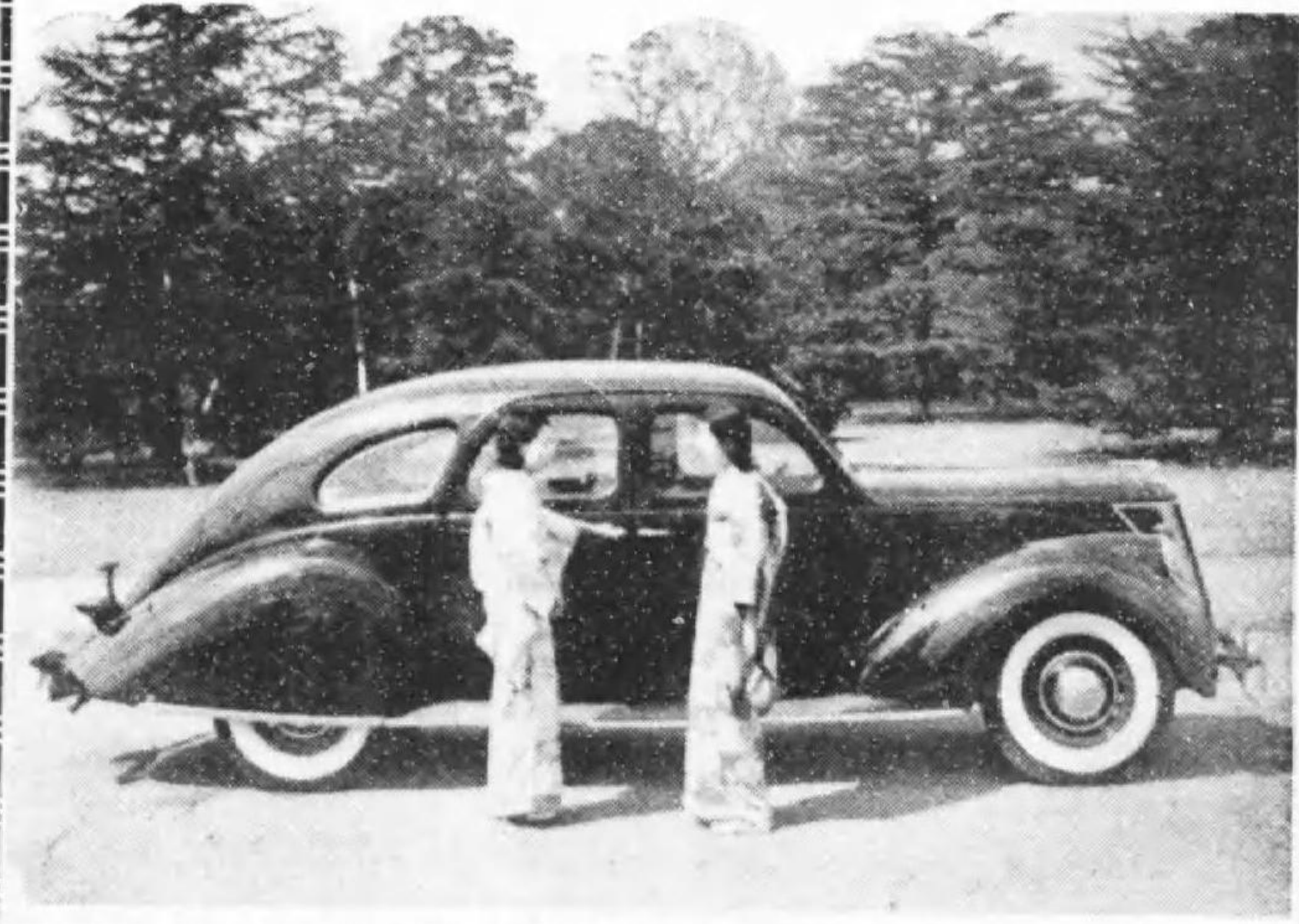
釧路市末廣町  
電話一〇五四番



新型高級車

石井タクシー

電話三五〇番

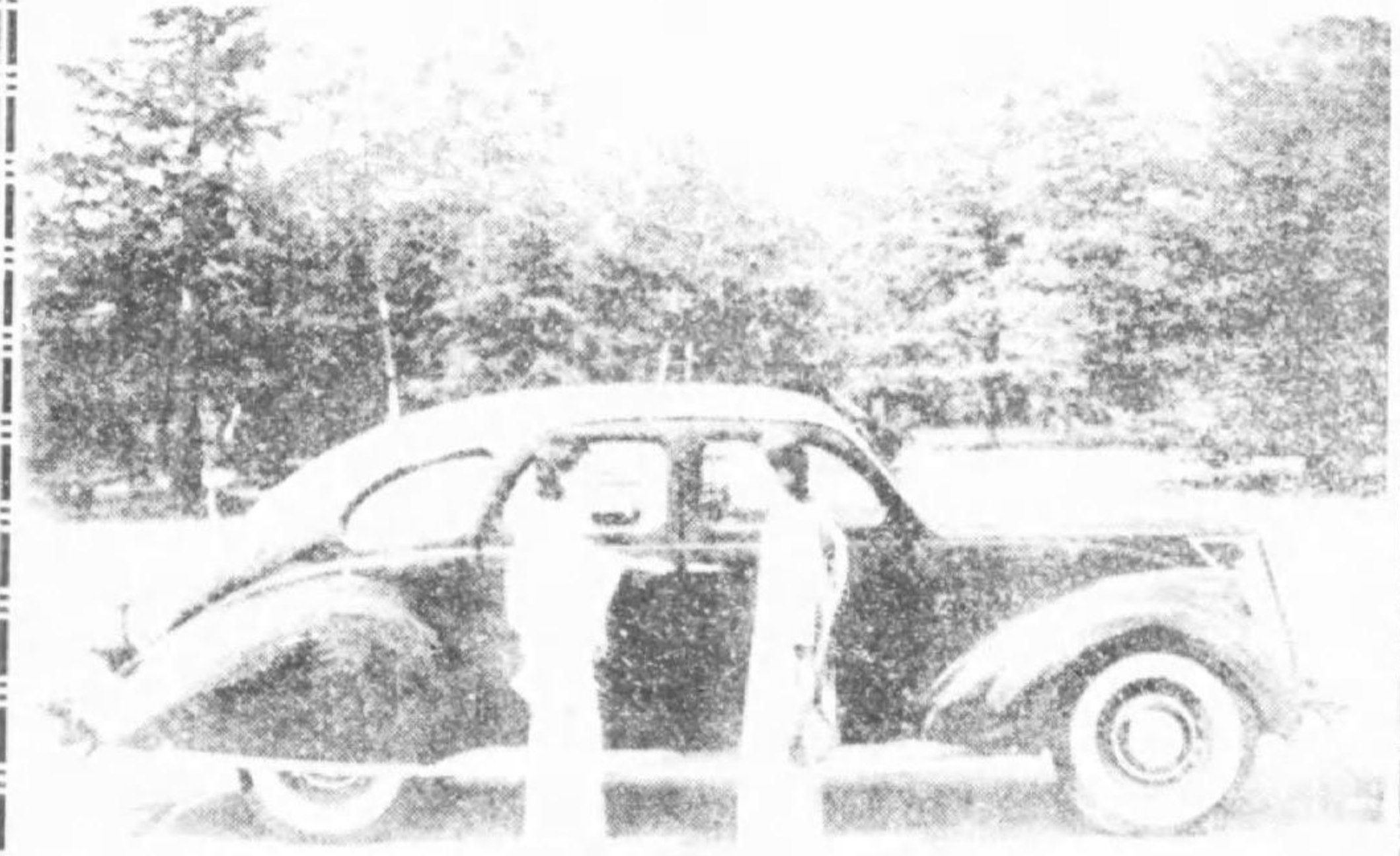




新型高級車

石井タクシー

電話三五〇番



圖繪



序

萬日荒寥たる西伯利亞の曠野でも、初めて訪るゝ者には深き感興を催さるゝ  
とのささげす、まして譬へ目立つた景觀に恵まれずとも、先住民族以來今日の  
文化を現出した釧路、幾多詩人、文人、さては畫家の來往した釧路、それは釧  
路人はこりて常住目に仰れて最早何等興味を惹かずとも、新らしきを求め、珍  
らしさに撞るゝ觀光客の喜びと感激とを迎ふる幾多の景物を藏して居るので  
あります

又釧路人として、郷土釧路の幾つかの名勝と舊蹟とを此の地に訪る客に誇り  
示すものゝ無い譯でもありません。

されば此の釧路の地に杖を曳かんさする遊子及び、觀光團體の計畫を樹てん  
とする人々に對し、釧路の土地柄や觀光場所を紹介するは吾々の責務とも感じ  
まして、當所は成る可く肩の凝らない觀光客の心を衝きて、釧路を訪れ度くな  
る小冊子を刊行することゝなつたのでありまして、獨り景色や名勝を紹介す







橋 畔 所 見

結城三郎撮影

る許りでなく、旅人の感興を唆る花街や、土産品の草々をも録す事とし、又近郊の勝景をも添加して、硬からず柔かに失せず、宜く釧路を訪れんとする人の心を捕へんと努め、一卷題して「釧路観光客内」と致しました。出来栄を見ますれば、当初の計畫に遠い事を遺憾に思ひますが、何分最初の試みでありますから回を逐ふて完成し度いと思ひます。

昭和十二年五月

編 者 識



川 畔 夜 景



第一部 釧路市内編

釧路市概観  
主なる官公衙  
交する市内通  
釧路市内名所  
観る市内名所  
市内観光順路  
旅路の特産品  
釧路の特産品  
傳説と唄の釧路



## 釧路市 概観

東部北海道唯一の要港たる釧路市は前面に無盡の魚田を擁し、廣袤三  
千萬方里本道半部の後方地帯を商權範圍に把握し、農産に礦産に、將又  
工産に限り無き物産の集散市場として産業及び經濟の上からも惠まれた  
る立場に在るのであります。

( 2 )

更に觀光の上から是れを見るなれば、近郊に天下の絶勝阿寒國立公園を扣え、東部北海道海濱  
特異の風光は釧路川曲流と相俟つて神の如く遠く姿を現はせる雌雄阿寒の靈峯を背景として筆舌  
及ばざる風景を形成して居るのであります。都市としても今や戸數一萬三百、人口五萬七千に  
達し、繁盛文化の上よりも名實共に東北海道の首都として王座を占めて居る次第で御座います。

「釧路」の文字は讀み辛いミ申しますが、我が釧路の語源はアイヌ語「クツチャロ」(咽喉)「ク  
シユル」(越路)「クスリ」(藥、溫泉)の轉訛ださ色々の説がありますが、是れを漢字釧路(釧の  
字は腕輪の意にて、此の一字にてもクシロミ讀む)を當て候めたのであります。

釧路の今日に至つた沿革を少し述べれば、今から凡そ三百年前松前藩が釧路川の上流「クツチ  
ヤロ」のアイヌを狩り集め、原始的な漁撈を始めたその中心が久壽里場所と稱し釧路の發祥地だ  
ミ申傳へられて居ります。開拓使時代、明治二年七月釧路に其の出張所を置き移民を招致し、全  
年佐野孫右工門氏(四代)は奥羽及び函館地方から釧路に九十戸の移民を配置し、以來漸次戸口  
を増し明治十三年戸長役場を置き、學校、病院等も備はり次第に繁盛を來たし、明治三十三年に  
は町制を、大正九年には區制を施かれ、遂に大正十一年八月一日市制施行せられて我國近代都市  
の末端に加はるこまゝなつたのであります。

市に集散する重要物産は石炭、木材、海産物、雜穀等であります。

石炭は釧路炭田の中樞に在りまして、釧路市内より石炭の採掘を致し居るのは全國でも例の尠  
ないのであります。企業は三井系、三菱系其他大會社の經營であり、採掘、輸送共に近代科學の  
粹を蒐め、港頭には常に黒き寶石たる石炭の山を成して居ります。

木材は後方地帯廣漠たる天然の美林より伐採さるゝ無盡の原木が或は各河川の流送に依り或は  
各鐵道に依つて釧路港に集り、是より日本内地は素より世界各地に向つて船便に依り積出さるゝ  
のであります。又是等木材を原料として製材や鉛筆材等加工輸出せらるゝものも多量であります。

海産物に就いては前面の海洋は世界有數の魚田であり、従つて漁獲さるゝ魚も鱈、鱚、鮪、鮭  
鱒、鯡、蟹等多種多様であり、又海岸に密生する昆布、銀杏草等の海藻の收穫も多量、是等は四  
季當市の市場を賑はして居りまして、或は鮮魚の儘或は冷凍、製造、加工せられて釧路の特産品  
となつて各地の市場に出向いて居ります。

雜穀は東部北海道の各原野に生産せらるゝ農産物は、海港市場たる釧路港に集中せられ、此所  
で精撰包装されて海外及内地に仕向けらるゝので、主なる雜穀は色豆類、青豌豆、小豆、大豆(黒  
大豆は特に有名)等であります。

右四大産物の他特殊生産物として王子製紙工場よりの洋紙、北海道製糖會社磯分内工場よりの  
砂糖、ビートバルブ、極東煉乳工場よりの乳製品、中村水産工場よりのフィッシュミール等であります。

釧路川の悠久の流れと共に、太平洋の波浪を臨み東蝦夷に打ち立てられたる日本文化の都市、  
釧路は斯くして産業に觀光に、遊子の訪るを待つて居るのであります。

( 3 )



主なる

官公衙

鉞路市役所

幣舞町

鉞路市を一望に收むる高臺に巍然として聳えて居ります三層の大廳舎は躍進鉞路を表徴して建築の威嚴を示してゐます。

廳舎樓上に立つて展望すれば東北西に亘り街衢整然たる市街や、鉞路川の曲流を隔て、遙か雲際に雄阿寒雌阿寒の山容を望み得可く又西南方には遠く鉞路、十勝の海岸を一連の線を以て彷彿に望み、近くは巨船出入する鉞路路を足下に見られ、更に南方一天萬里太平洋の碧浪に接する等、絶佳の眺望を得られます



鉞路工商會議所  
工商獎勵館

大川町

市の中樞幣舞橋の南袂に在り  
良き市内の商工業者の機關として、又外來の客や觀光客の良き案内者として働いて居ります。

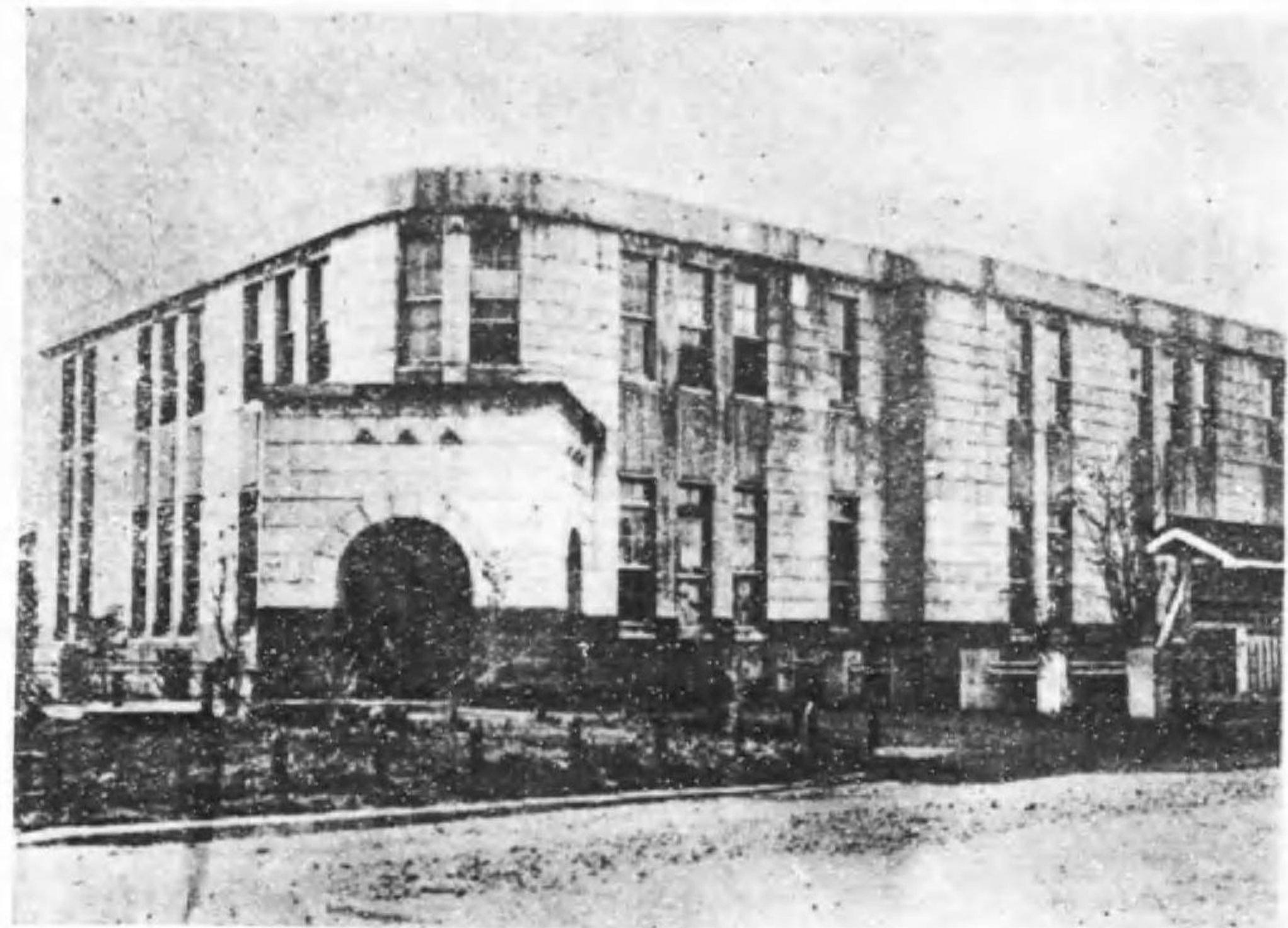
建物の中には商工獎勵館が併置せられ、市の物産や地方の特産物が陳列され、觀光「ゾーン」には信頼出来る土産品賣場として觀光客の來訪が絶えません。

會議所内に事務所を置くもの次の通りであります。

- 鉞路商工組合聯合會
- 鉞路港灣會
- 鉞路機械鐵工業組合
- 鉞路疊販賣商業組合
- 鉞路荷造改裝商業組合







釧路國支廳

浦見町

釧路市は東北北海道の首都とも稱すべきでありまして文字通り是れを治むる凡ゆる官公衙を具備して居ります。

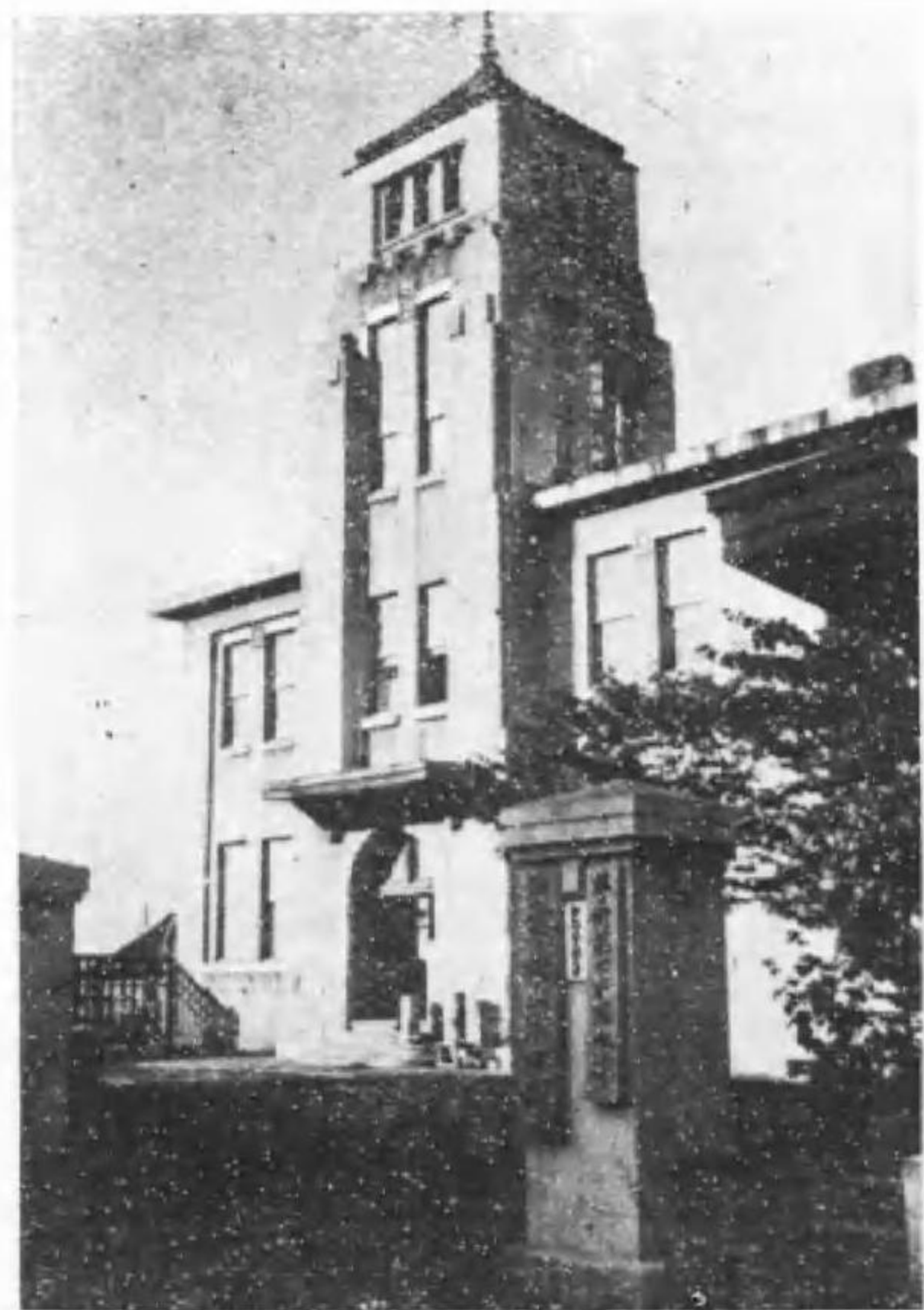
其の主なるものを舉ぐれば

釧路市役所、釧路國支廳、釧路地方及區裁判所、釧路聯隊區司令部、釧路警察署、釧路築港事務所、釧路土木事務所、釧路運輸事務所、釧路保線事務

所、札幌鐵道局釧路工場、釧路營林區署、函館海事部釧路出張所、函館稅關釧路支署、釧路稅務署、專賣局釧路出張所、釧路商工會議所、北聯釧路支所、釧路信用組合等

釧路警察署

幣舞町





交 通

釧 路 驛

釧路の大女關  
釧路驛は北海道  
の首都札幌より  
三百八十五軒に  
位置して居りま

して、省線は當驛より更に延び東方百三十五軒根  
室に至るもので、瀧川根室間根室本線の最主要驛  
であります。

昭和十一年九月 聖上陛下地方行幸を拜し驛  
内外大改造を致しましたが、猶ほ激増する乗客に  
對し手狭を覺ゆるので遠からず大改築が行なはる  
ゝ模様であります。

昭和十一年中の乗降客数は

乗客 三七九、六六一

降客 三三三、六三一

釧路驛よりは省線として東釧路驛より分岐する  
釧網線行の列車が仕立てられます。

釧網線は標茶、弟子屈、川湯、阿寒國立公園を  
經て網走に至る線でありまして途中國立公園の景



觀の他沿線鶴の生棲地や「トローロ」「タッコブ」等  
の湖沼水郷があり、景勝の地に富んで居ります。  
又一方私設鐵道は當驛から分岐する(一)雄別  
炭礦鐵道線の雄別炭山迄で延長四十四軒と(二)  
東釧路驛より分岐する釧路臨港鐵道線でありまし  
て、雄別炭礦鐵道線は牧畜に名高い釧路原野や舌  
辛炭田を通過し、途中舌辛驛より乗合自動車の便  
ありて國立公園の阿寒湖畔への最短距離となつて  
居ります。

臨 港 岸 壁

釧路臨港鐵道線は東釧路驛より太平洋  
春採炭礦を經由し風光明眉の春採湖畔や  
太平洋の男波女浪打ち寄する千代の浦、  
人に名を知らるゝ知人岬、さては煙檣林  
立の釧路築港を通過して入舟町に至る線  
(延長八軒七分)と釧路驛より釧路川に  
沿ふて下流木材置場天寧驛を経て城山驛  
によるもの(延長二軒二分)との二線に  
分かれて居ります。即ち此の臨港鐵道線  
は釧路市の南部外周を還る線で、此の線



カ  
ン  
リ  
ン  
カ  
ー







### と港路釧 通交路海

に依れば市の外観を大觀出來る譯であります。此の線の主要目的は太平洋炭礦採掘炭を釧路港頭に運ぶのミ併せて當港海運連絡貨物を運搬する爲めでありますが、近時觀光客や市民の爲めに溝洒なガソリンカーを備へて全線十錢均一で沿線風光を満喫出來る様に致してある爲め利用客が激増して居りまして驛及停留場も全線に十一もあり市内交通としても重要な役目を致して居ります。

市内には右の他省線新富士驛があり主として王子製紙工場方面の貨客を扱つて居り、又濱釧路驛があり釧路驛より分岐して貨物専門の驛であります。

次に海運に依る交通は主として貨物輸送を營むものですが、栗林商船を扱ふ三輪運輸會社や、近海郵船會社の代理店釧路海運會社等が海運の牛耳を握つて居ります。

當港に最も多く出入する船類は㊦印の煙突も勇ましき栗林商船會社の船であります。

### 社會式株車動自合乘路釧

市内の交通機關として觀光客には勿論市民に最上のサービスを提して居るのは釧路乗合自動車株式會社の經營する乗合「バス」であります。三十八人乗の大型より各種の觀光「バス」を揃へて乗合客に對しては素より貸切車の「サービス」を致して居ります。

又市内線の他、釧路市内と近郊隣接地方との連絡線を有して居ります。

一、市内線は驛前より北大通を南進、幣舞橋にて釧路川を渡り南大通に右折して直進更に左折米町遊廓大門前に至る線で、料金は全線十錢均一。

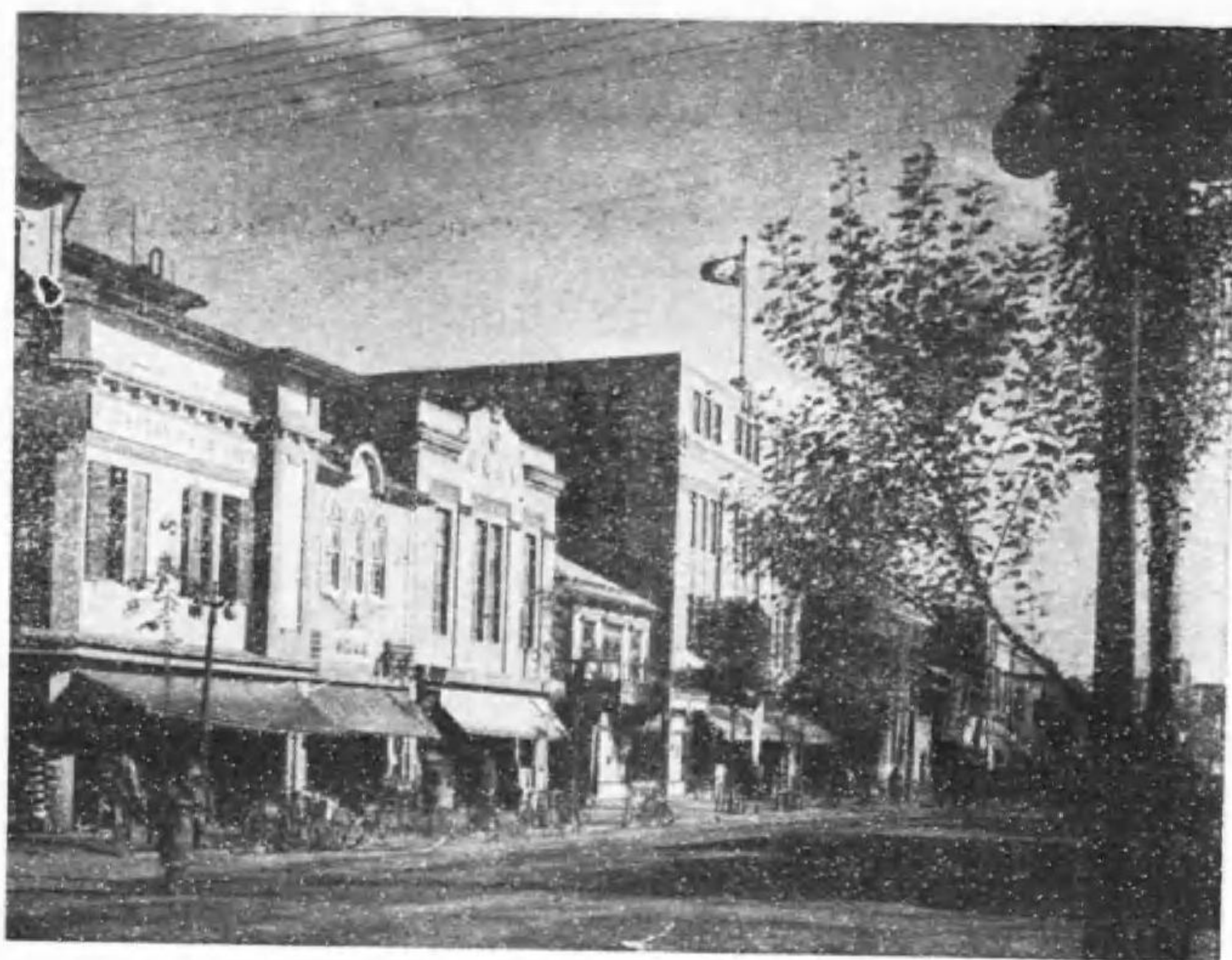
二、鳥取線 北大通十字街を起点として北進し省線を踏切り鳥取村に入り、新釧路川を渡つて王子製紙會社工場前に至る線で、毎日三十四回の運轉を爲し料金全線十五錢で二區に分ち、途中一區丈の乗車は料金十錢

三、春採線 北大通十字街を起点とし、南大通より高臺に上り貯水地を經山、春採湖畔に沿ふて春採炭礦に至る線で、毎日十七回運轉し、料金全區十五錢で二區に分ち、途中一區丈の料金十錢。

四、昆布森線 釧路驛を起点とし市の東隣村昆布



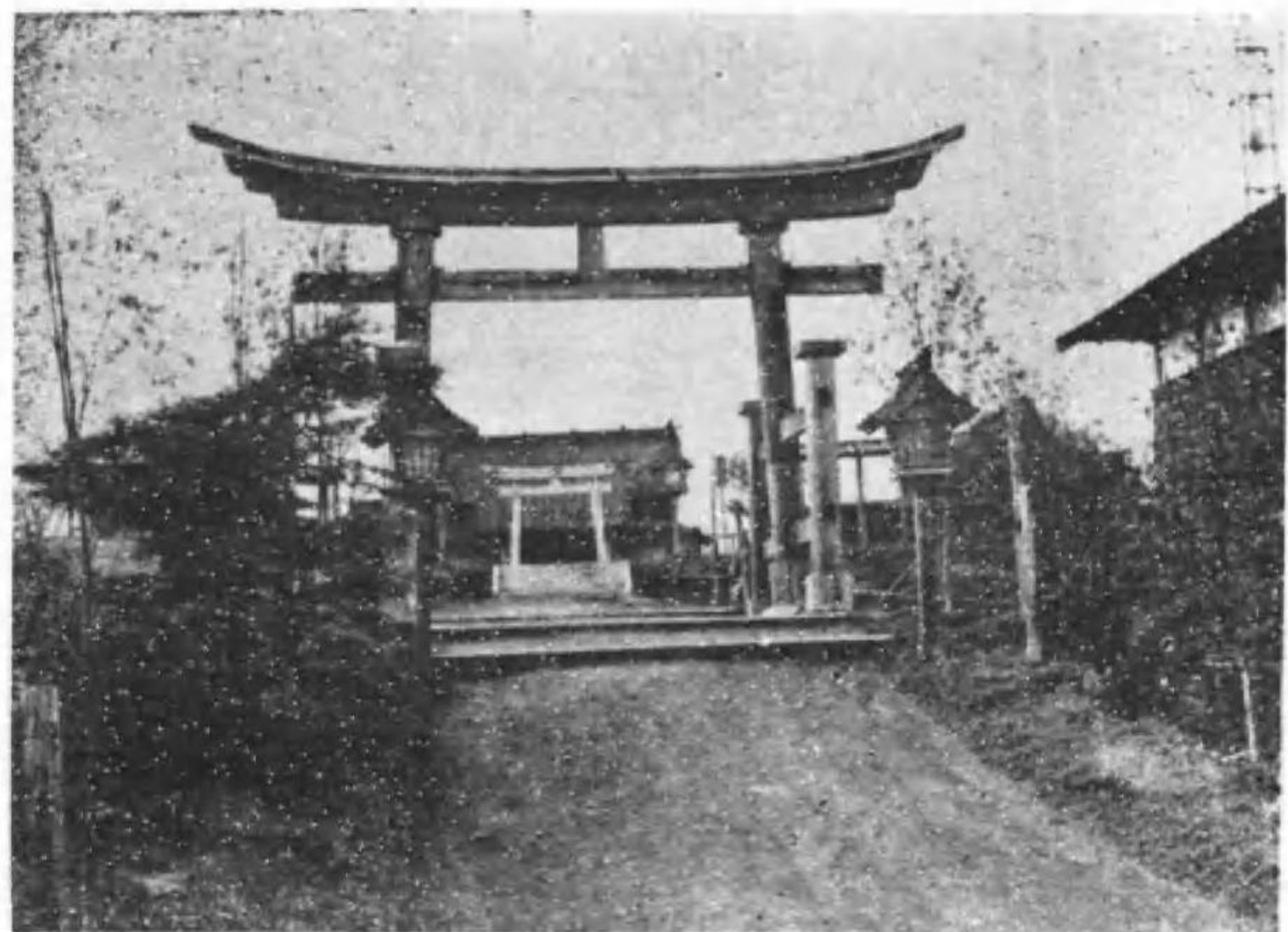




北大通り

森の村落に至る線で沿線の風景掬すべきものあり  
 ます、一日二回の運轉で延長二十軒で料金七十錢。  
 五、中雪裡線 釧路驛を起点とし北方隣村たる新  
 分村鶴居村中雪裡に至る線で、毎日二回運轉延長  
 四十軒全線料金八〇錢  
 六、別保線 釧路驛を起点とし別保驛に至り毎日  
 八回運轉延長七軒半、料金三十錢  
 七、浪花町線 北大通り十字街より浪花町を経て漁  
 港迄に至る線で一日十七回運轉料金十五錢。  
 市内交通機關として上記釧路臨港鐵道會社線及  
 び釧路乗合自動車會社の「バス」線その他「タクシ  
 ー」は業者十三名、車數二十四台ありまして、此  
 の他小型「タクシー」三台最近運轉を始めました  
 大型「タクシー」全市料金七十錢、小型「タクシ  
 ー」全市三十五錢であります。

市内交通の中心は北大通りより幣舞橋を横  
 ぎり南大通りに至る路線でありまして又商業  
 の中心商店街の中心にもなつて居ります。  
 殊に北大通は大履高樓櫛比せる新興街であ  
 りまして當市の繁華の中心も亦此所にあり  
 ます。



釧路市内  
 の名所

縣社嚴島神社

釧路市の總鎮守府縣  
 社嚴島神社は米町知人  
 岬上の丘に鎮座し祭神  
 本殿は市杵島姫大神で  
 ありまして相殿には阿  
 寒大神（大山祇之命他五柱）の神を祭つてあります。  
 毎年七月十五日は神社祭禮日で市民の祭神日となつ  
 てゐます。

御野立所…社殿の背後に佇立する崖上は釧路港を俯瞰  
 せられ展望絶佳でありまして明治四十四年 大正天  
 皇東宮殿下に在まして本道御巡啓の砌り御躰を止めさ  
 せ給ひ、超えて大正十一年 今上天皇陛下攝政宮殿  
 下に在まして御巡啓あらせられ、又昭和十一年特別大  
 演習當り地方行幸當市に聖駕を柱げらせられし際、畏  
 くも展望の雄渾を御賞讃せさせ給ひたる御野立所であ  
 ります。





### 幣舞橋

市を南北に二分する釧路川に架し北日本有数の名橋でありまして昭和三年十月着工以來三年八月の月日敷と總工費八十六萬五千圓を費やし全長三百七十六呎、橋巾五十九呎七吋四分ノ三の堅牢にして壯麗なる鐵橋であります。本橋は實に我が釧路市の交通の生命であると共に其現代的橋容は本市の文化を表徴するものでありまして、市の精氣は實に此の橋より生ずると云つても過言ではありません。市民の等しく愛撫する寶橋でありまして、此の橋よりの眺め又、此の橋を眺むる眺め共に好個の畫額であります。夏の夕景ともなれば臙乍らの橋側の夜燈は南北大通の大道を透して「ハイヒール」や「ダンテ、ボーイ」の漫歩も見らるゝのであります。觀光の遊子よ一度は來りませ、此の橋の上に

### 本行寺

彌生町

主なる寺院佛閣は彌生町に本行寺（眞宗本願寺派）聞名寺（眞宗大谷派）あり、米町に法華寺（日蓮宗）大成寺（淨土宗鎮西派）定光寺（曹洞宗）西端寺（眞言宗高野派）等がありまして是等の寺院は米町、彌生町に相對する丘陵上にあり、寺町を形成して居ります。

本行寺は最も大きな伽藍であつて、「コンクリート」造りの威容は附近を壓して聳えて居ります。





### 知人岬

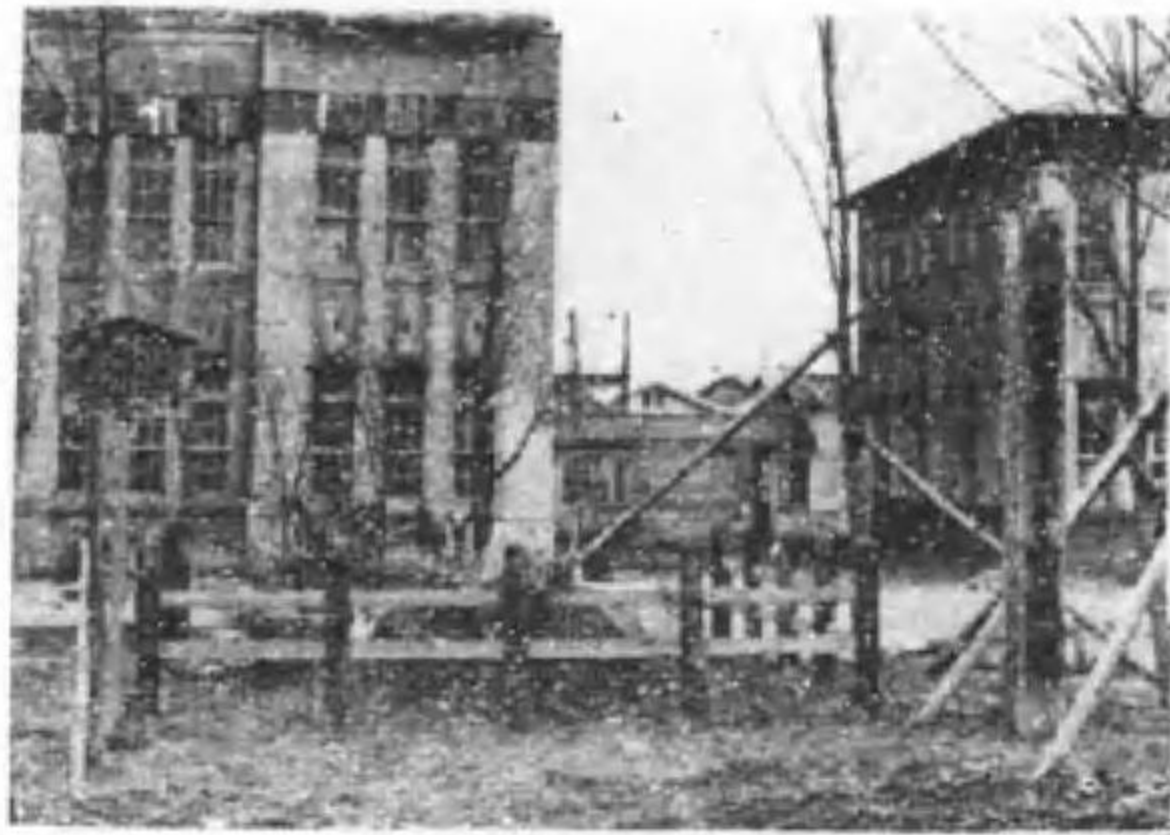
涯てなく続く釧路平野を隔て、遙かに雌雄阿寒の秀峯を眺め、脚下に岸壁に繋ぐ巨船を俯瞰して更に紺碧の太平洋を望む知人岬有史に遠き古へより先住「アイヌ」や後住和人の情緒に如何に詩的に映せし事よ。知人岬は淋しくも人の心を捕ふる迷想の場所であります。

### 釧路燈台

釧路燈台は知人岬の一角にあり釧路港出入の船舶の爲めに恒久の光を放つて居ます。六等燈臺三萬燭光、光達距離十八海里半明弧毎秒十五一閃を發します。

### 霧笛

燈臺に併置されて霧笛信號があります。毎四十秒を隔て、五秒間吹鳴の「サイレン」の音は約四十哩に達します。



### 山供御

城山町の背後に鏡餅大小を供へた型の小山は久壽里二代目酋長「トミカラアイノ」が築いた砦であります。  
(史蹟名勝天然記念物として指定せらる)

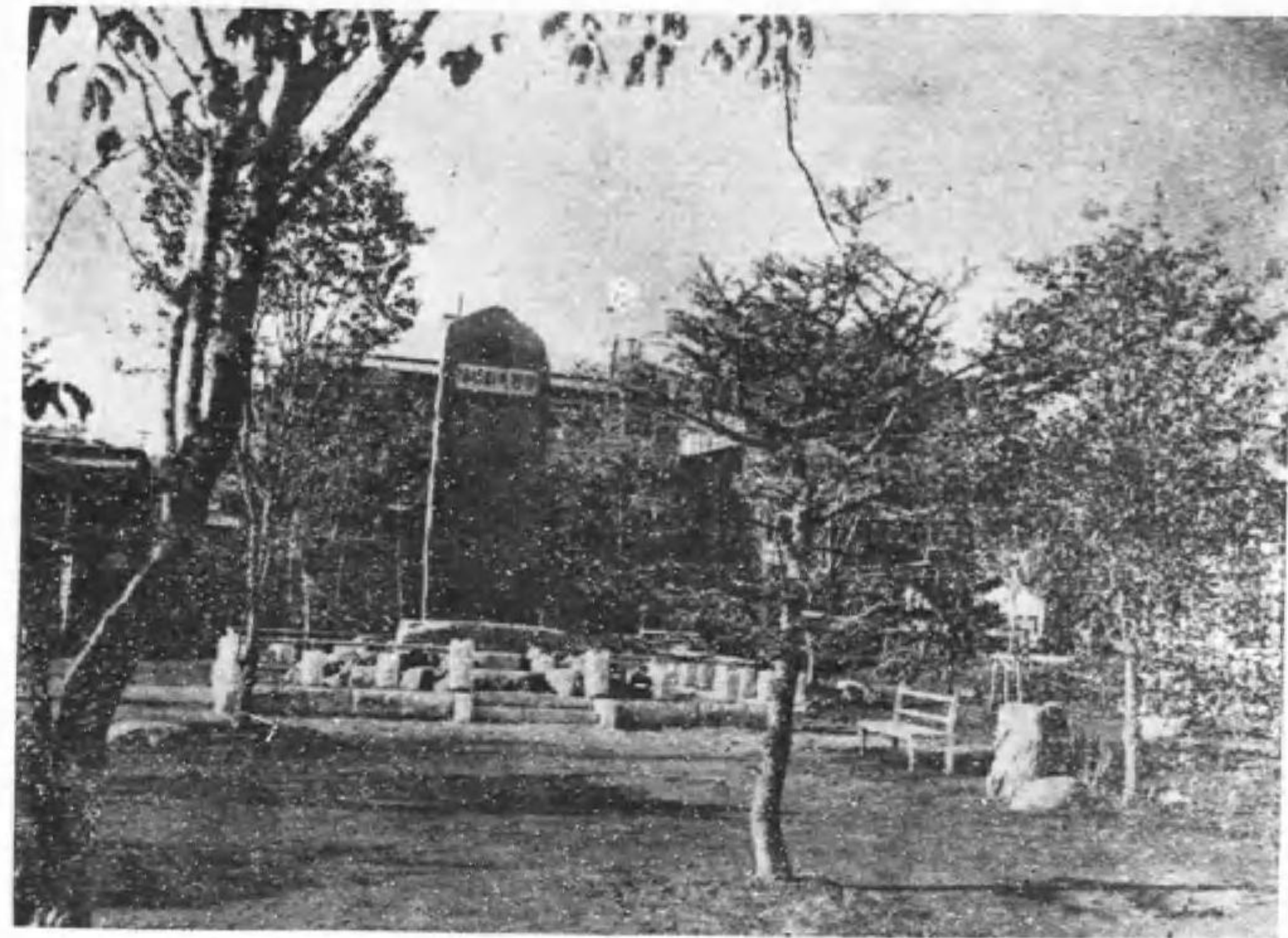
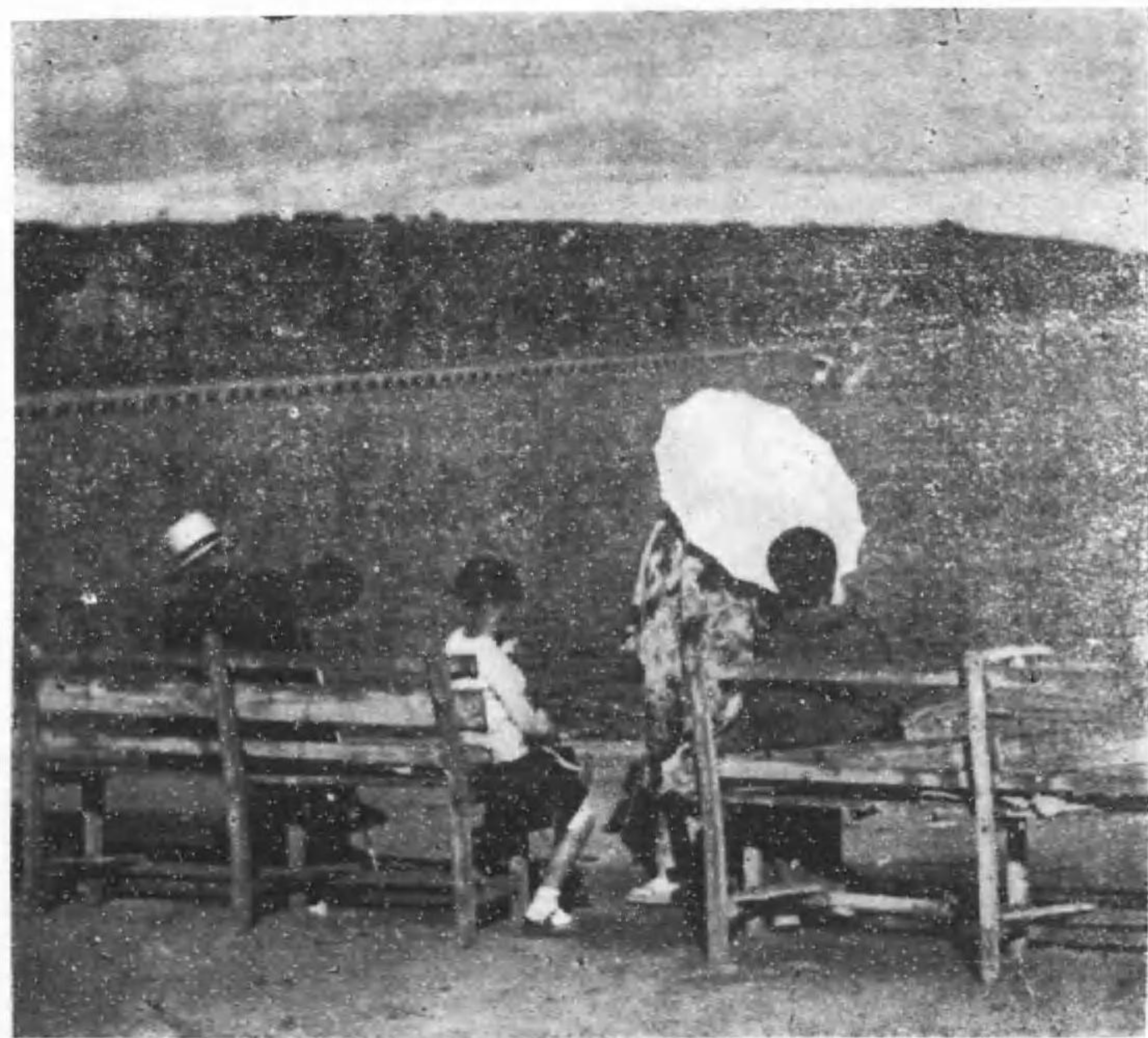
### シユバチ古戰場

往古「ハルトリアイヌ」の英偉酋長「シユバチ」が戦死せる地で、今は市役所前の廣場の一角に跡がある。  
「アイヌ」族盛んなりし時代の戀物語を秘めたる傳説が傳へられて居ります。  
(史蹟名勝天然記念物として指定せらる)



### 春探湖の風光

春探湖は市の西南に柔かき風光を示し丘の翠を映して静かに眠つて居ります。夏はボート冬はスケートに湖畔は市民の逍遙地であり湖水には固有の緋鮒を産します。湖に沿ふて舊土人部落あり、又湖畔東端に半島あり夷人「チャラケチャシ」を稱し舊土人のチャラシケ（裁判）執行に利用されたものも謂はれ、二重環城の壕あり、珍らしき城趾であります。



### 佐野紀功碑

南大 通

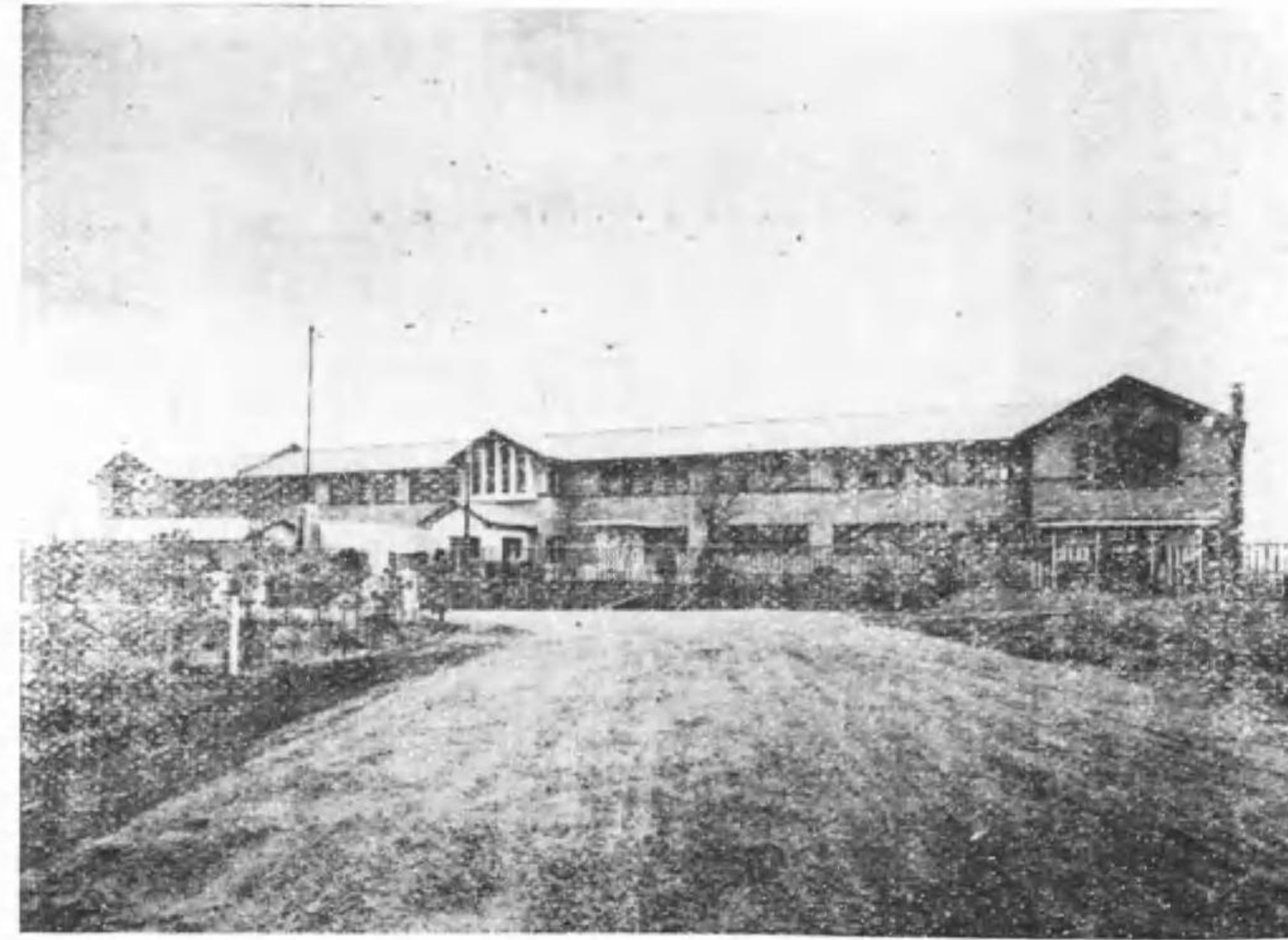
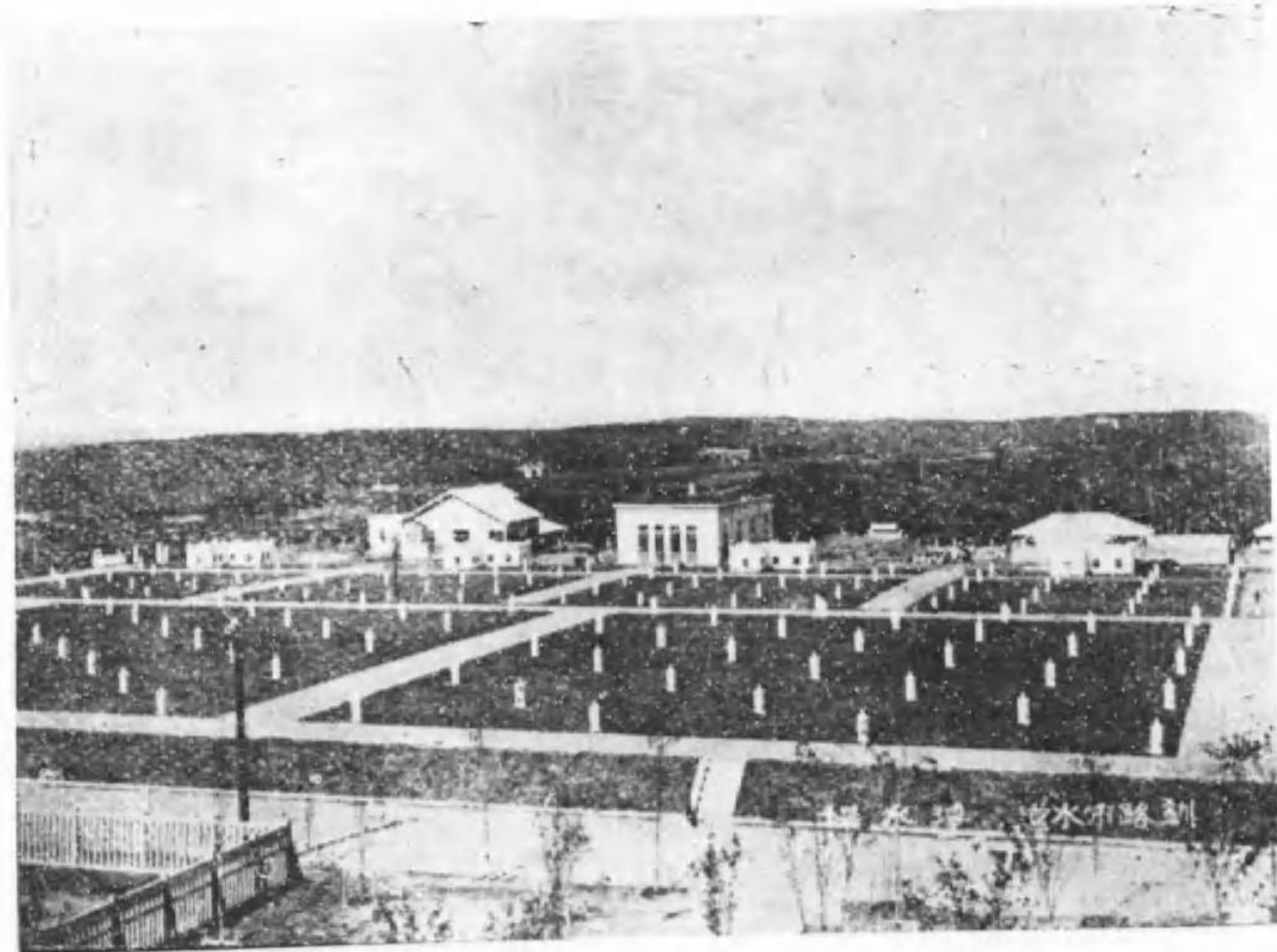
釧路と云へば佐野氏の功績が聯想せらるゝ程釧路創設時代に於ける開發の恩人であつて、昭和十一年其の功を記念する碑が建立せられたのであります。



## 貯水地

春探

市民の飲料水を供給する源  
であつて上水道貯水池及濾過  
池を有し、工費二百六拾万圓  
を投じ昭和四年竣工したもの  
であります。



## 鉤路(單置)高等小學校

住吉町

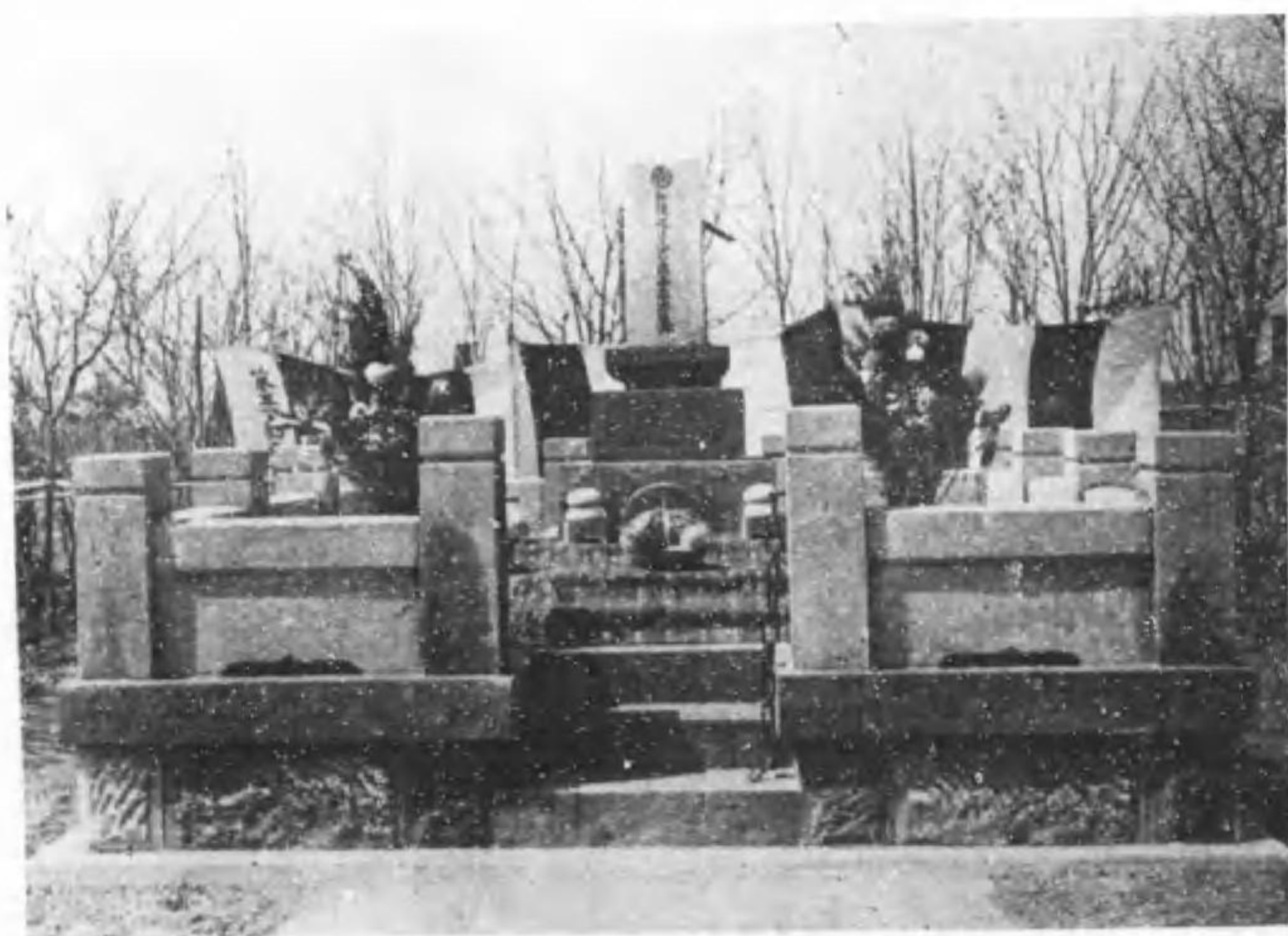
昭和十一年の建設に係り、市の  
春探湖を一望に收むる高臺に在り、  
畏くも 今上天皇陛下 昭和十  
一年九月北海道地方行幸の砌り、  
當市に聖駕を奉迎し、本校を行在  
所とせられ御二泊遊ばされたる聖  
蹟であります。



## 吉良墓標

殉職遞送人吉良平治郎氏の稀に見る責任觀念は我が國民の龜鑑として文部省に於ては教科書（高等小學校修身書卷一、第十課責任）に其の徳を讃へてありますが、我が釧路市の有する誇りの一であります。

基標は市外殉職の地に建てられています。



## 茅野公園の櫻

北海道の春は晩く訪れますが、釧路には櫻花の訪れも遅れ五月下旬になります。此の頃ともなれば流石春宵一刻を惜しむ釧路の若人成群は、櫻花を尋ねて此の茅野公園に遊ぶのであります。釧路地方に珍らしき櫻樹の満開を樂しむこゝが出来ます。

釧路市に公園としては此の茅野公園の他に春採湖畔に春採公園の豫定地があります。



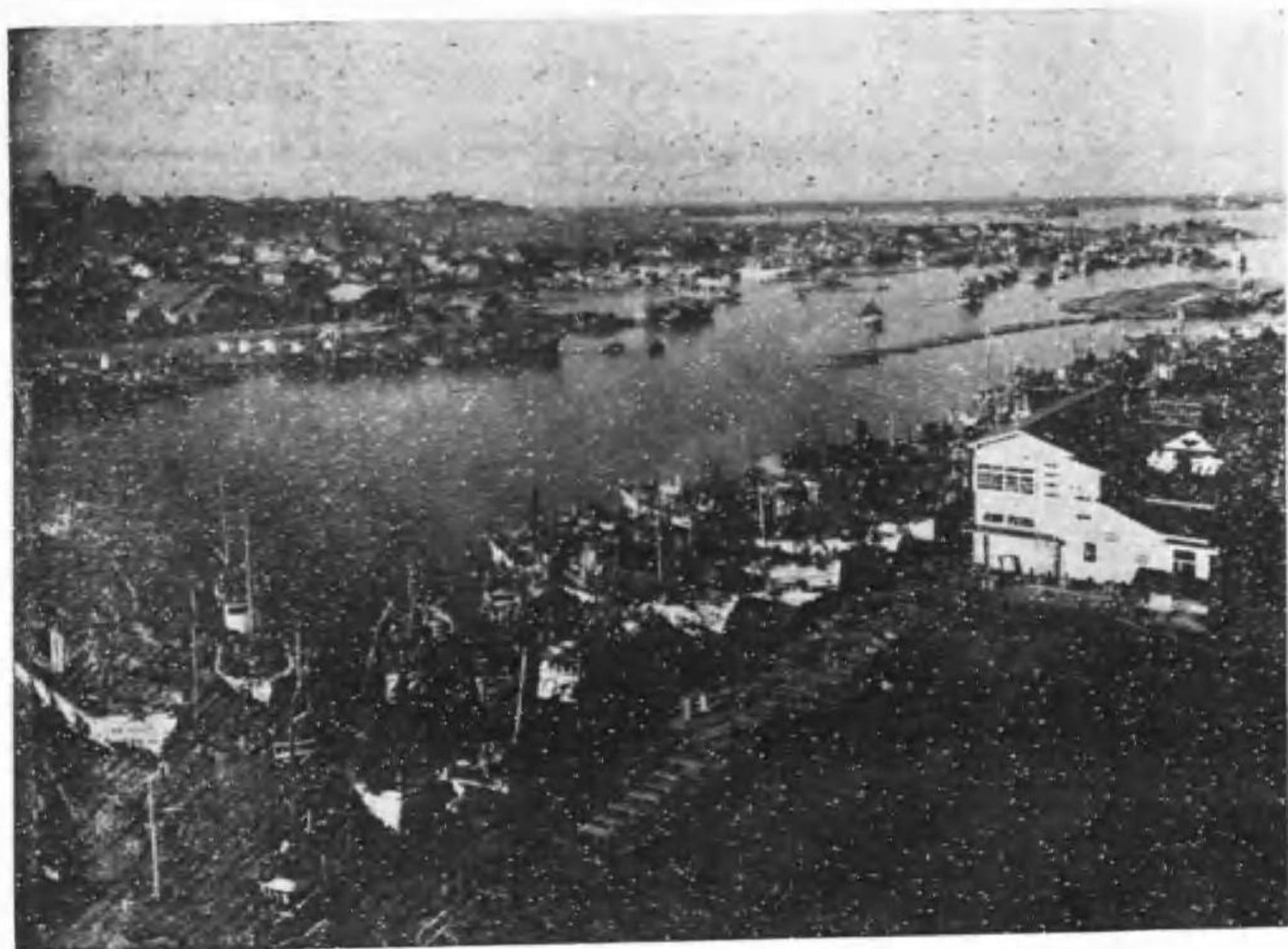
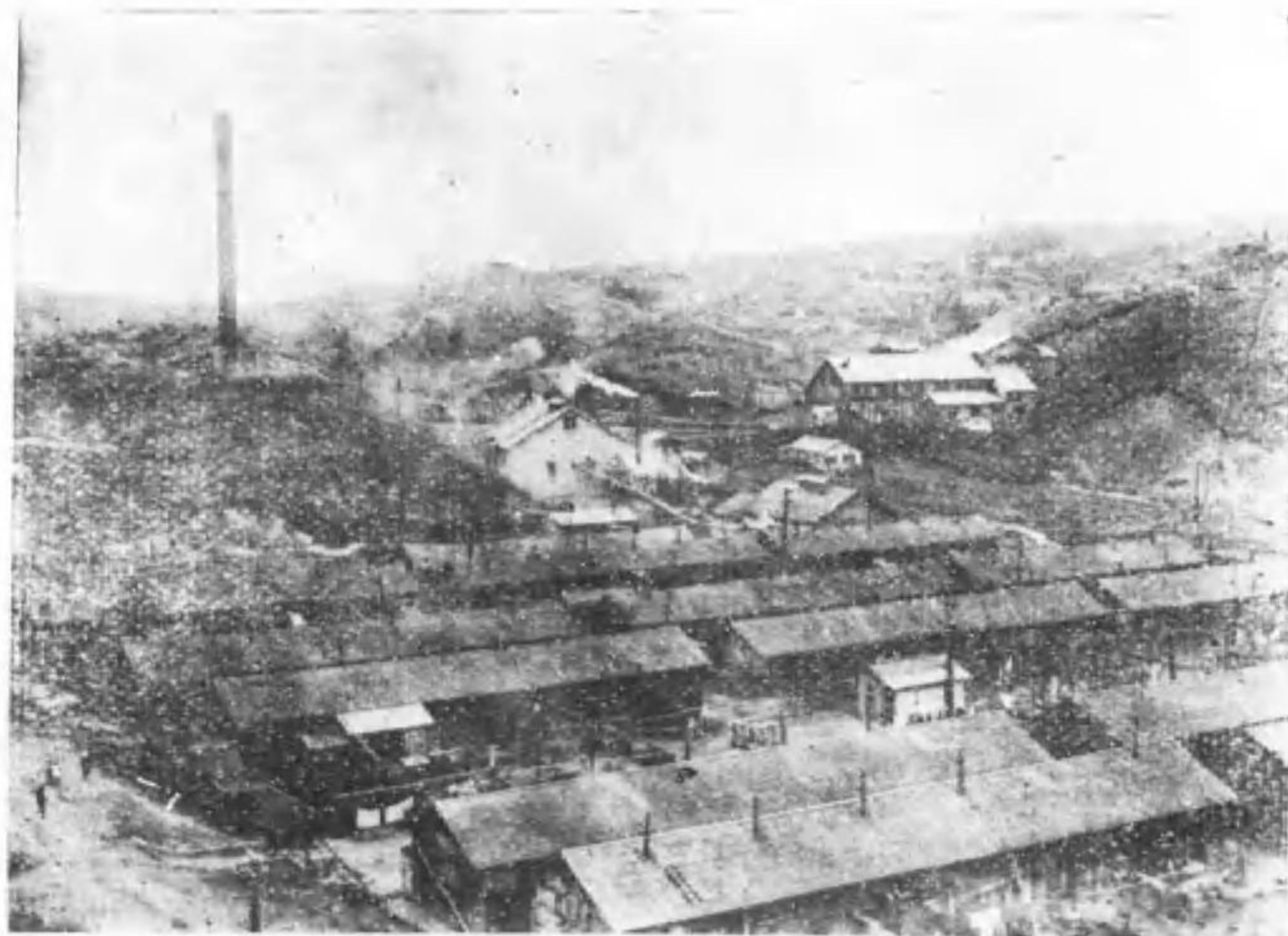
## 太平洋炭礦

春 採

細長き春採湖の行詰まれる所、三井系の大炭礦太平洋炭礦があります。此の炭坑は釧路市内の區域に在るのでありまして、昭和十一年中の採炭高は三十一萬噸を示し附近同社の炭礦別保、新尾幌の兩炭礦を合すれば實に四十五萬噸に達し、猶ほ急激に採炭高の増加を示して居ります。

本炭坑は實に我が釧路市の寶庫と謂ふ可く送炭は主に山元より同系統の釧路臨港鐵道會社線に依り釧路築港岸壁に送られ、是れより自動「コンペーヤー」に依り船積せられて各地に送らるゝのであります。

同炭礦の釧路市内に對する販賣は凡て釧路共同賣炭所に依つて行なはれて居ります。



## 釧路魚卸賣市場

錦 町

産業釧路の最も活潑なる動きは漁業根據地としての釧路に見らるゝのであります。

漁期到れば全國よりの漁業發動機船數百隻に依り、釧路河岸は勿論港内の賑ひは旅人の目を驚かせます。是等の漁獲した魚類は大部分釧路魚卸賣市場の取扱となり、是より本道は申す迄も無く全國に仕向けらるゝのであります。

故に市場開場の時刻ともなれば其の忙がしさ勇ましさは戦場の様であります。





### 天寧木村置場

奥地より搬出せられ、釧路港より積出さるゝ木材は斯くして天寧木村置場に集積せられます。是れも産業釧路の一断面として遊子の驚異とする所であります。

此所に集散する木材は先づ輸出用楢材、其他の雑木類及びエゾ松、トノ松等の青木類でありまして、角材や丸太の儘他に輸出せられ、又は市内に於て挽材として精製せられます。

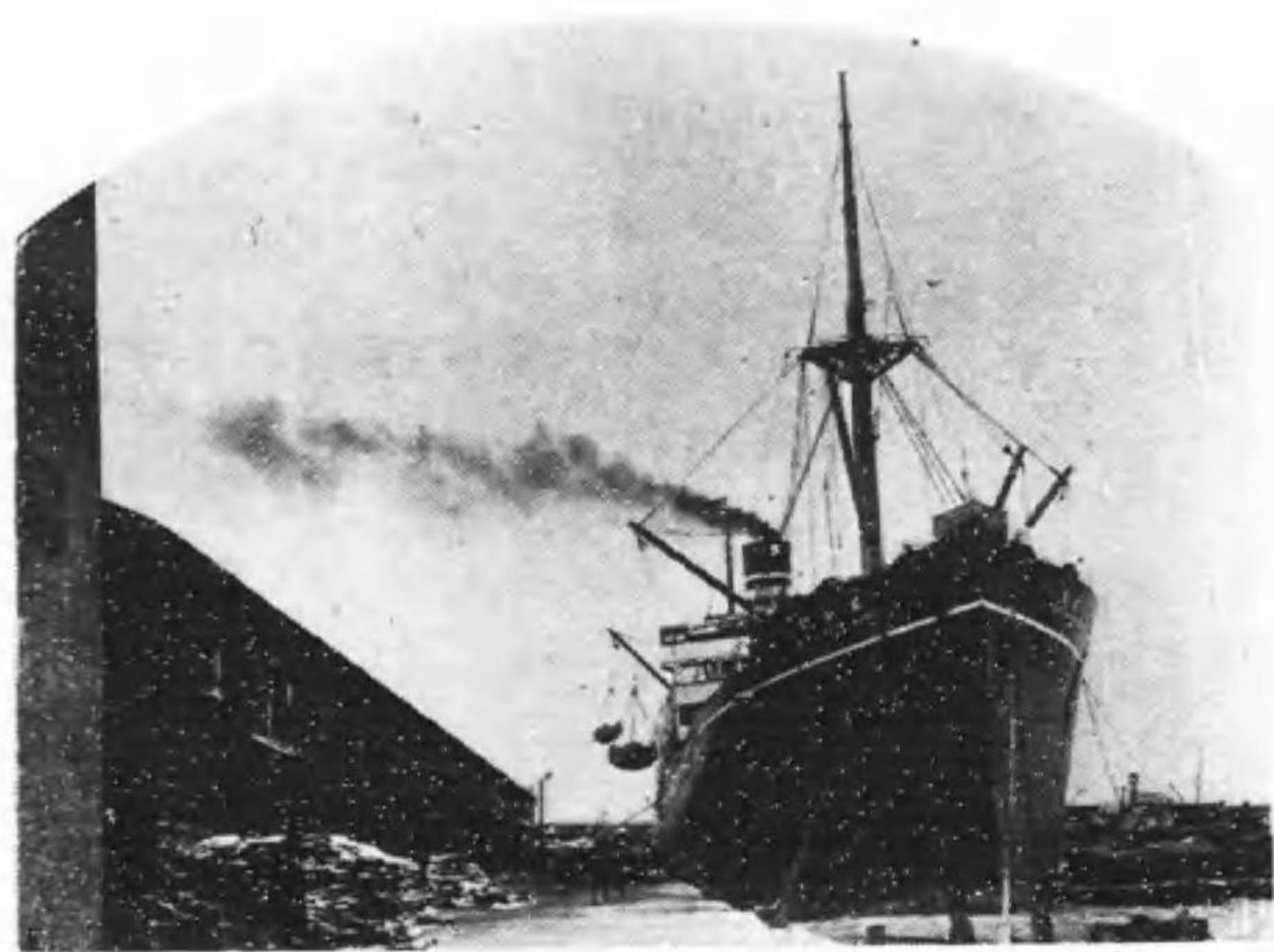
### 鮭陸揚の光景

釧路は日本有数の鮭漁地であり、前面太平洋を流るゝ黒潮は七、八月の交鮭の廻遊は釧路をして鮭の大産地に化せしめます。

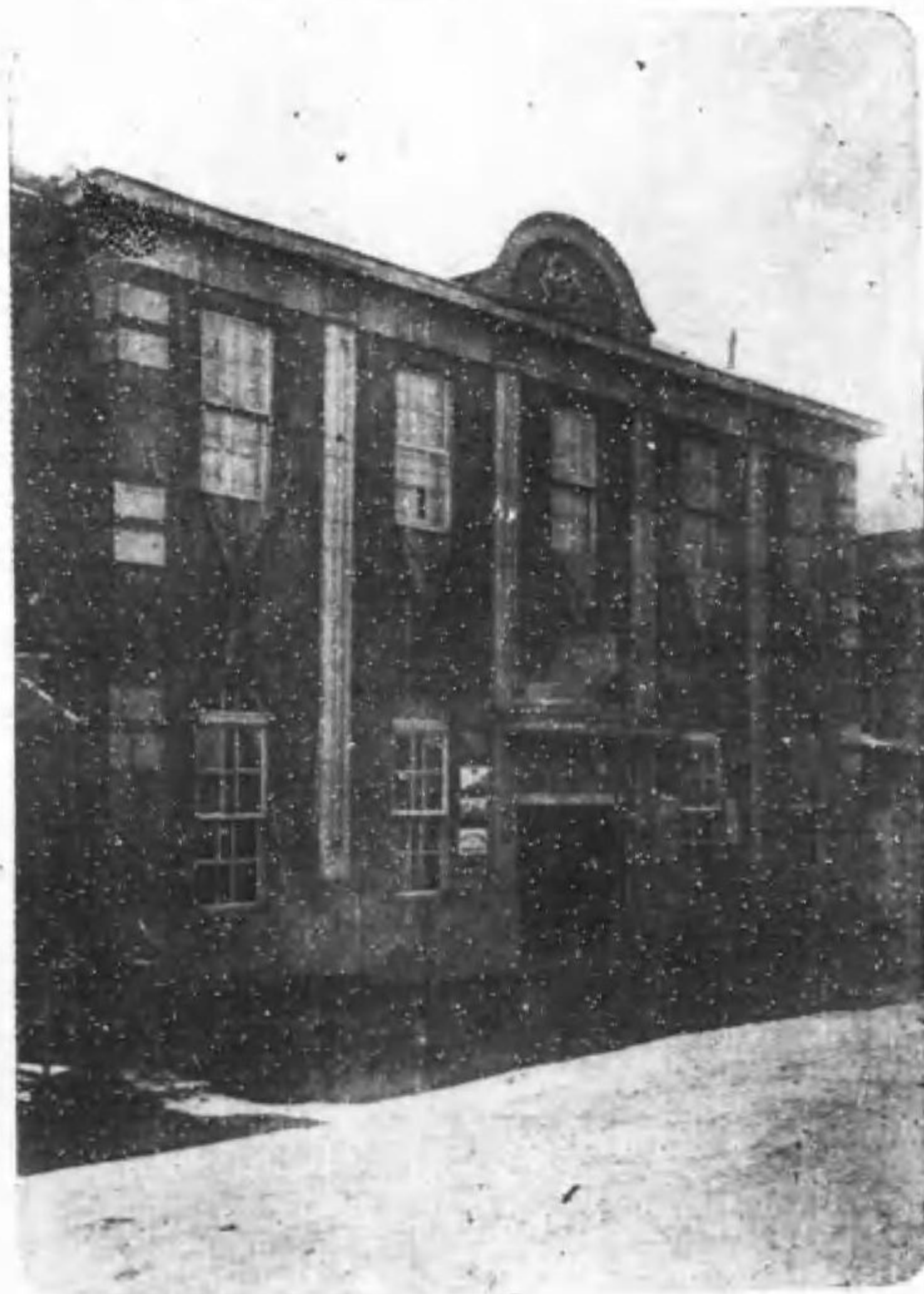
其陸揚は誠に壯觀で無数の大魚体は苦も無く陸揚せられ取引せられて行きます。







と壁岸港築  
絡連陸海

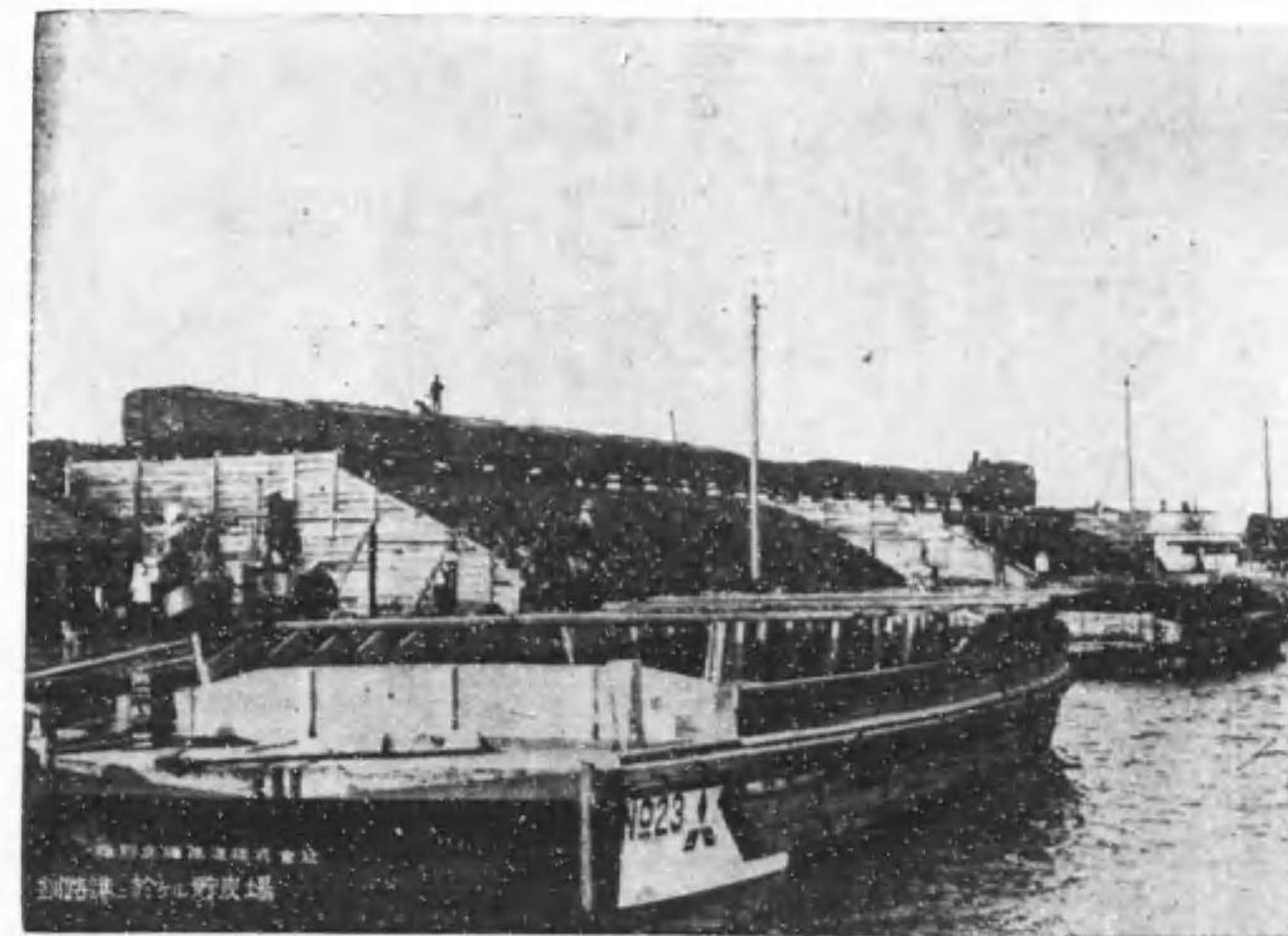


釧路港には一萬噸の巨船も自由に接岸荷役の出来る岸壁が完成されて居ります。又海陸連絡の作業は主として三ツ輪運輸株式會社が是れに當つて居ります。

場炭貯岸沿川路釧

町 川 古

市の近郊雄別炭礦よりの送炭は、雄別炭礦鐵道に依り釧路川岸に集中せられ、目下是れより舢舨に依り船積せられ、各地に仕向けらるゝのでありまして、常に貯炭數萬噸に及び石炭の山を築いて居ります。





歡樂街

㊦

トーパテ屋鶴

日曜日の行樂や夕べの散步、盆暮の買物等文化都市生活者の感觸を樂しましむるもの、それは商店街の陳列窓、デパートの買歩き、さては家族連れの食堂、獨身者の「カフェ」喫茶店更に發展しては弦歌の花柳の邊り等釧路にも相當の歡樂街を有して居ります。

先づ第一に釧路唯一の「デパート」㊦鶴屋を御紹介致しませう。

㊦鶴屋は釧路の銀座街なる北大通の中心に在りまして、四階の大建築で、

文化人の凡ゆる觸感を満足せしむるのであります。

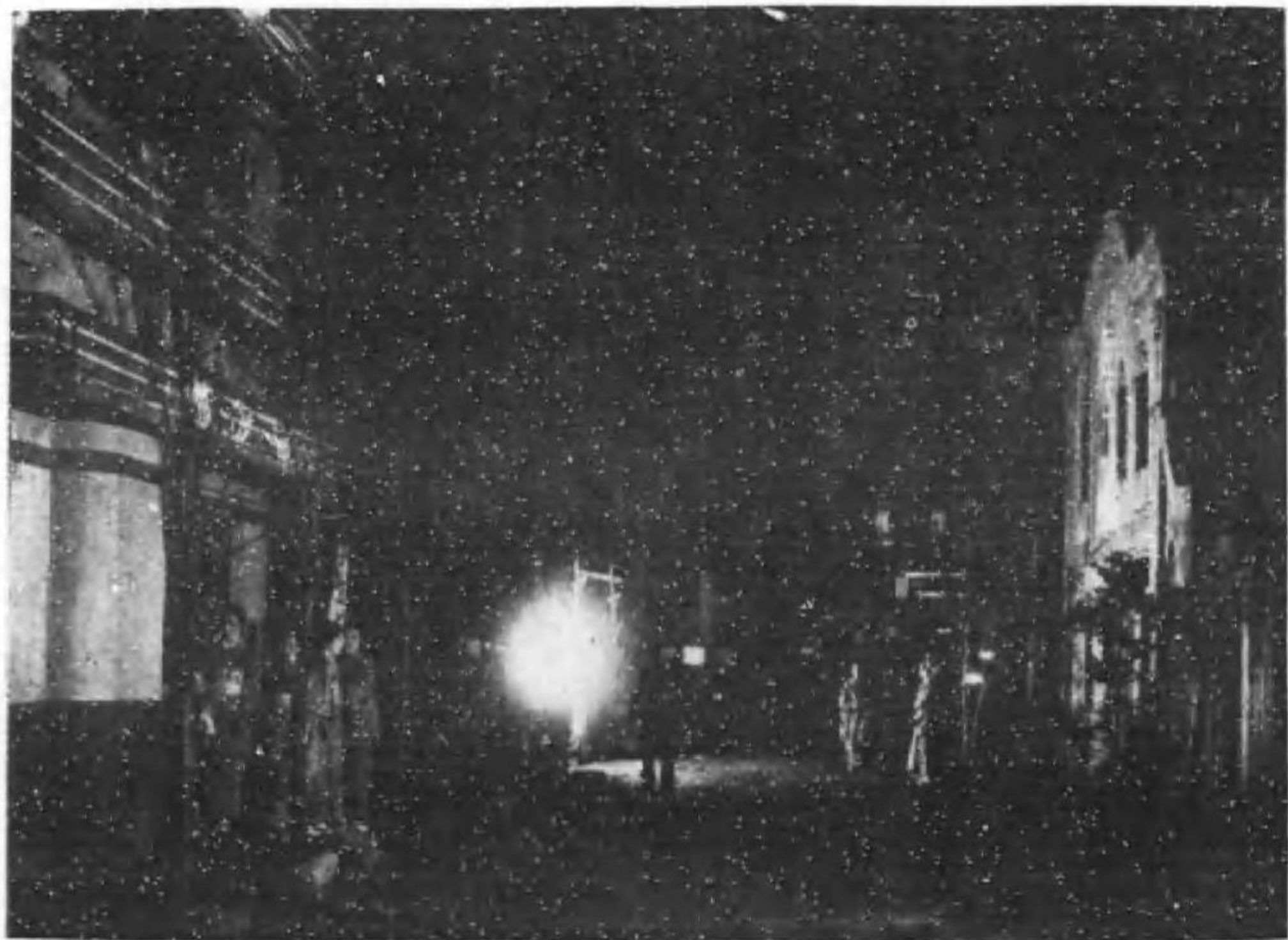


釧路の夜と酒

歡樂街の夜は酒は友連れであります。が、當地もネオン街の夜景に又花柳の軒端にふさわしき酒を有して居ります。

土地吟醸の酒としては敷島商會醸造の銘酒「福司」ミ、朝日酒造合資會社の「朝日櫻」の兩種で、何れも灘物にさして劣らぬ優品であります。

又他地よりの移入酒としては、北の譽、千島川の兩酒は最も市民に親しまれ、用ゐられて居ります。



( 景 夜 )



老 松

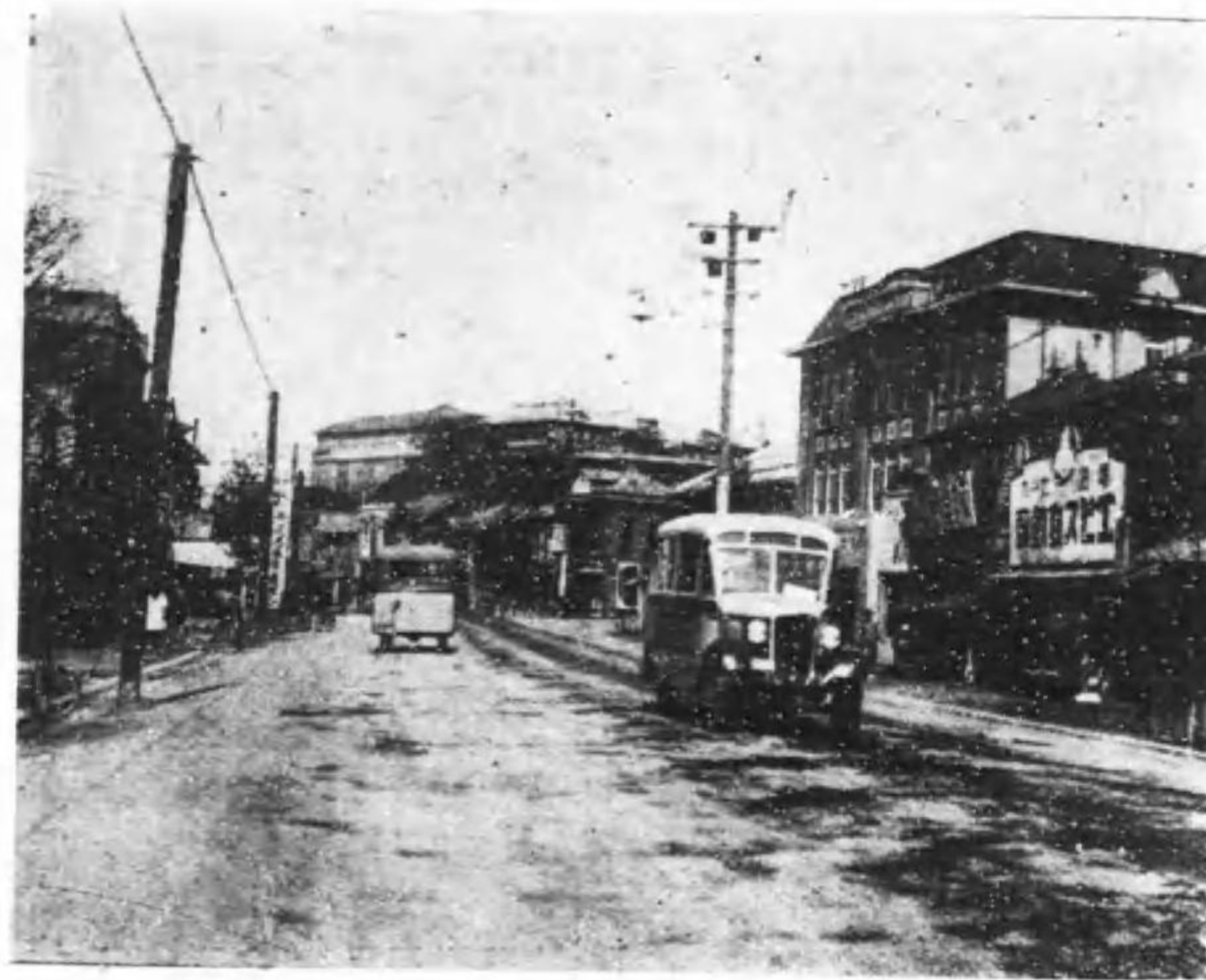
浦 見 町

電 話 老 松  
番 四 七 四 松 老  
番 三 八 九 番 三 八 九

老松は釧路の有する大旗亭であります。總ての大宴會の多くは此所で行はれます、由緒も古く、作りも高尚優雅、釧路市街を一望に眺め得る景勝崖上に建てられています。

老松に附屬して洋食特に御座敷洋食を得意とする常盤とぎわがあります。老松と軒を並べた一劃を成して居ります。

抱藝妓 年 丸



南大通商店街

稻荷小路

北大通に交叉する稻荷小路は露店の並ぶ盛り場であります。夏の午後ともなれば大厦の集ひは、其所此所の香具師の能辯に惹き付けらるゝのであります。

南北大通を通する商店街は、春より秋にかけて北海道の多忙と共に繁榮して居ります。



## ンオイラ

末廣町  
電話六〇七番

日本料理、洋食、支那料理、何んでも可なる橋北の大切な料理店であり  
ます。抱藝妓も八人も居りまして、美人揃ひ意氣揃ひで、土地の賣つ子を  
占めて居る様な形です。女將の手腕が又大したものです。一度は訪れて下  
さい。

「ライオン」と

は恐い名ですが、料理の味と  
サービスは、誠に親しみがあ  
り、又勉強第一に努めて居り  
ます。

抱藝妓名

萬龍、清香、玉龍、三吉  
若菊、龍子、十八、十郎



## 八ツ浪

浦見町

電話一〇〇番

旗亭八ツ浪は市の料亭の中最も高級な一  
つであり、如才なき人氣者の女將の總指揮  
の下に遊客に心行く迄で春宵の一夜を楽し  
まします。

各室の造作も仲々の凝りを見せて江戸前  
の瀟洒優雅を盛つて居りまして多情多感の  
遊子の去り難き情趣をこめて居ります。

又座敷よりの眺めも釧路市街を一望に眺  
めらるゝ絶佳の景色を恣に出來ます。

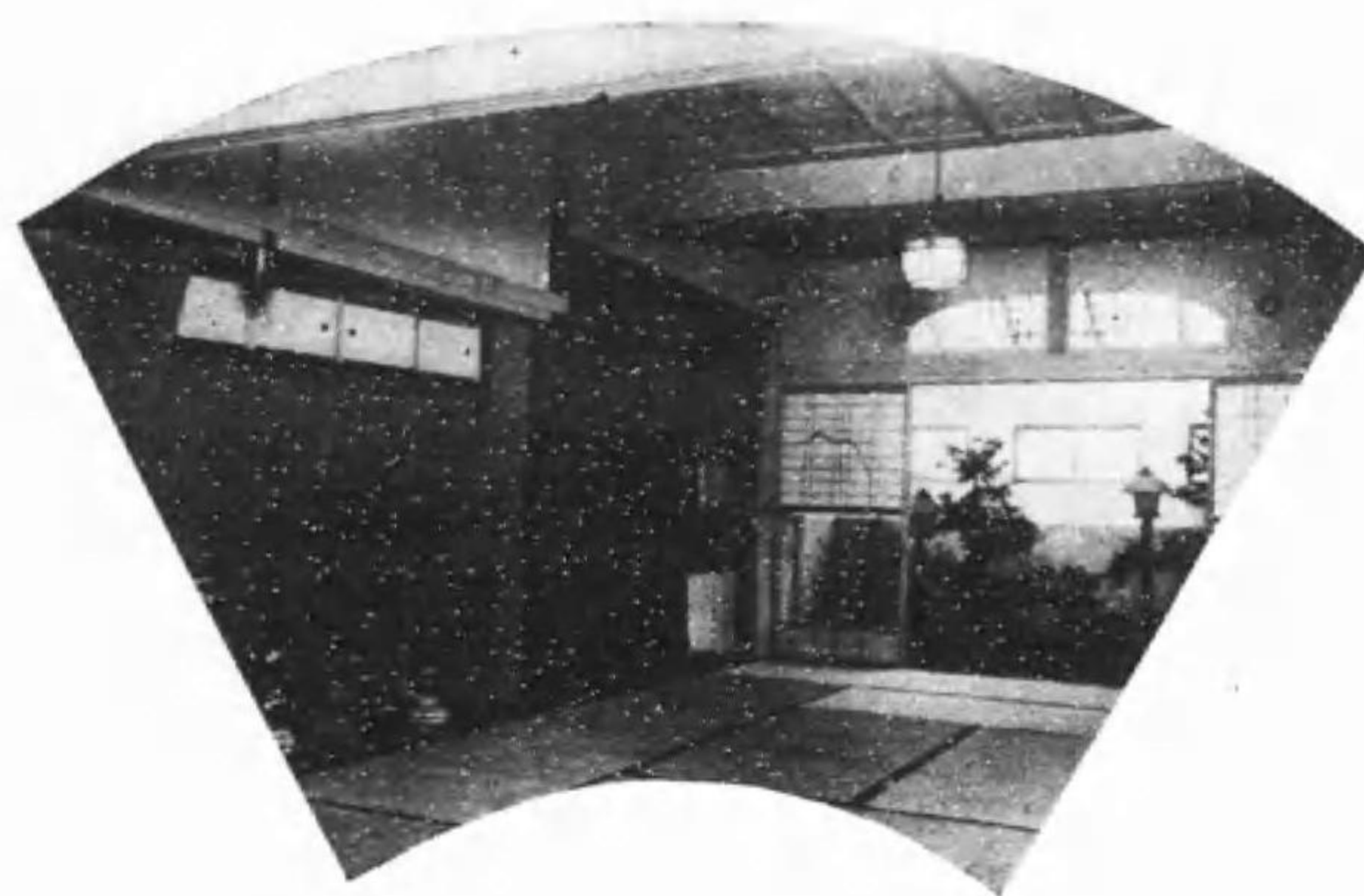


花柳街處ところ



橋南名妓 久子裙

柳暗花明の脂粉の香浮ぶ街のそとろ歩き、ネオンの光り  
 眩ゆさ「レコード」の騒がしさも異郷に訪ぬれば何と無く  
 なつかしきものです。釧路市の花柳街の處々を綴つて見ま



千 鳥

末廣町  
 電話七〇六番

橋北名旗亭千鳥は大衆的料亭で、市民に最も親しみを有するお茶屋であります。

美形連も十名を抱へ、百數十人を容るゝ大廣間や、室々の意気な作りと共に豪華を誇つて居ります。

抱へ藝妓 お鯉、松千代、福千代、勝子、駒勇、玉千代、福丸、千成、八千代、べ太郎



せよう。

釧路の花街は橋南、橋北の二つに分かれ、古くよりの由緒を有する橋南の花街、此處に盤踞する料理店は老松、八ツ浪、多喜の家、満さご、喜久本、竹本、鹿島屋等で、株式會社釧路見番を中心として一街を成して居ります。此の見番に屬する藝妓大小三十六名の姐さん方は、粹ミ藝とを誇りとし傳統釧路を守りて居ります。

橋北は幣舞橋より北に、新進の意氣に燃ゆる新發展地でありまして、料理店は「ライオン」千鳥、藤家、梅林、駒止、喜多代、珍家あけぼの、恵比壽家、辰巳、八千代、鳥よし松久、正宗、たきのや支店、一力、ミヤコ等があります。

此の方面は株式會社橋北見番に據る藝妓大小現在六十二名居りまして、夫々妍を競ふて居ります。

當地の藝妓線香は南北兩見番共突掛け一時

## 街の酒場

### 末廣町

末廣町「カフェー」街の一角に君臨する歡樂の殿堂「街の酒場」は釧路市に於ける最大の「カフェー」であります。中に「サービス」する女給群四十人、色ざりぐの興趣を以つて夫々の奉仕をして居ります。

一大城廓にも似た此の歡樂郷は、

男のオアシスでありませう。

數々のコムバート、ソファ

は來り訪る客を女給と共に待つて居るのです。

建物の二階大部分が「カフ

エー、ホール」になつて居り

まして階下は「撞球」其他の

娛樂場も附屬して居り、又階

上の一部には宴會場も具はつ

て居ります。

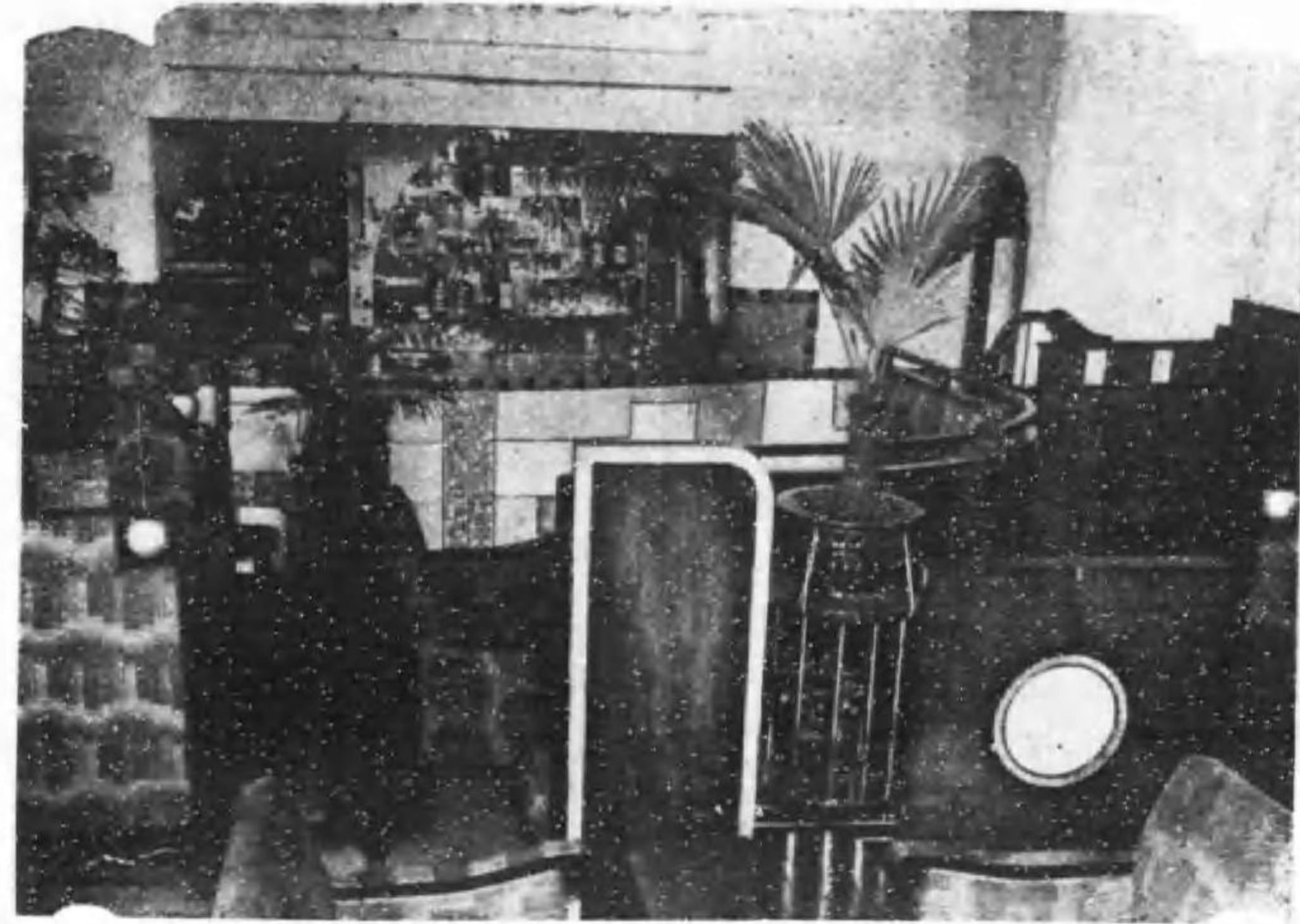


間三本の計算で一圓五十錢、お直り三十八分毎に一本五十錢を増すことになつて居ります。次にネオンの光り賑々しき「カフェー」街に就いて申しますと、橋北末廣町を中心とする橋北カフェー街ミ、幣舞橋の南袂近く集中して居る橋南新地と、兩方に分かれて居り、橋南は豪華を誇り、橋北は艶麗を看板として居る様です。

橋北に於ける主なる「カフェー」は豪華版「街の酒場」躍進新發展の「ツバサ」上品華美の「赤玉」「サロン富士」等を初として、夜毎女給の優にやさしきサービスを競ひ、橋南は美人揃の「パレス」や「安久」「千草軒」「アラブ」「芳蘭」等であります。

猶ほ右二つのカフェー街の他、米町遊廓に至る兩側に特別なカフェーが軒を並べて居ります。米町遊廓は市街自動車米町終点に在り大門をくゞり、大店小店十三軒に百十三人の娼妓が居ります。





一エフカ  
サバツ

町 廣 末

末廣町と稻荷小路との交叉する所カフェ「ツバサ」があります。

美人揃の女給十四人、大部分高女出身のインテリを集めたる近代感觸豊かな大ホールであり、又一掬の盃にも何となく文化の香が致します。これはインテリ一なる彼女達のせいでしょう。

釧路として此處の店によりない高雅なオートマン式連續演奏自動蓄音器より流る、「メロデー」は陶然たる氣分に浸さしむるのであります。其の名の示す如く一度訪れた人々には、必ずツバサあらば飛んで行き度い氣持がするでせう。

一エフカ  
スレパ

町 大

橋南新地の女王カフェ「パレス」はあく迄でも優雅と典麗さを「モットー」とした「サービス」であります。

心行く迄での親切、男の心をそらさぬ思ひやり、訓練されたる女給の奉仕は、釧路紳士の足を惹き付けて居ります。

明眸の女性より受くる感懐と隙間なく整つた設備とは此の「カフェ」の特長です。

此のホールに送る典雅なる一夕は、永久に忘れぬ思ひ出となるであらうこゝは必定であります。





### 館畫映及場劇

演劇の爲めの劇場としては  
八千代座 末廣町四ノ一 電話三八八  
があります。

又映畫館としては左の各館があります  
オペラ館 末廣町五ノ三 電話一八八

特約映畫 松竹、大都

敷島館 南大通二ノ七 電話一〇二七

特約映畫 日活、マキノ

エビス座 末廣町二ノ一 電話五六七

特約映畫 新興



松千代姐さん  
橋北名花  
千鳥

### 路順光觀内市路釧

釧路市内には此の小冊子に掲げた名  
所舊蹟丈けでも觀光の價値あるもの多  
數であります。時間の關係上茲に自  
動車ハイヤーに依り大約一時間の内に  
觀光し了り得る順路を示せば







人さ寶小 南橋



人さ姫龍万 北橋  
ンオイラ



裙 榮 若 北橋  
ンオイラ

釧都に艶を競ふ名花の内、少し許りを掲げました。旅の徒然  
を彼女等の心からなる接待に一夕を過ごすのも、亦思ひ出の  
種ミなりませう。



裙 丸 年 南橋  
松 老



旅 館

此處彼處、日ねもす観光の旅に勞れたる身心を休息して翌日の觀光の目的を滞り無く果す爲めには、良き旅館の靜かなる眠りが必要であります。又何と無く感傷的なる旅の哀を慰むるも宿屋の心からなる親切であります。釧路では此の意味に於て各旅館は觀光客に身心の安息所を提供する爲努力して居ります。主なる旅館は南大通りに在る富士屋、**大**近江屋、驛前のとらや、黒金町山形屋等であります。

宿料は一夜 (二食付)

一級旅館にて 二圓、二圓五十錢、三圓、五圓以上  
二級旅館にて 一圓六十錢以上二圓五十錢迄  
三級旅館にて 一圓三十錢以上二圓迄

旅館の案内は驛前に各旅館の送迎人が列車到着毎に出迎ふる他、驛前釧路商工獎勵館經

主なる旅館

富士屋	南大通三ノ二四	電話二二一
<b>大</b> 近江屋	南大通三ノ二四	電話二三九
山形屋	黒金町八ノ三	電話一四九
とらや	黒金町一三ノ一〇	電話八一九
二級		
<b>正</b> いくよ	北大通一三ノ一〇	電話六八九
長新湯屋	北大通一三ノ十一	電話一〇四二
<b>本</b> 菅田	北大通一ニノ六	電話二三七
甲中村屋	北大通一三ノ一	電話六九一
天秋田屋	黒金町九ノ二	電話八三四
仙後藤	黒金町一三ノ四	電話四七一
半菊屋	北大通七ノ一	電話七七六
杏三島屋	北大通七ノ四	電話四八一
<b>甲</b> 旅館	北大通一三ノ六	電話九八七

營土産品賣場に附設された觀光案内所で、委はしく御案内致します。



—エフカ  
んさ苗早「場酒の街」



—エフカ北橋  
裙子リマ「サバツ」



—エフカ南橋  
んさ子摩志「スレバ」





屋江近因

目丁三通大南  
番九三二話電

支廳坂の右角、堂々たる和式建築の旅館で富士屋旅館と並んで居ります。一級旅館として釧路の代表的旅館の一つであります。室数三〇世馴れた女將の指揮に依る女中の親切な客扱は好評であります。

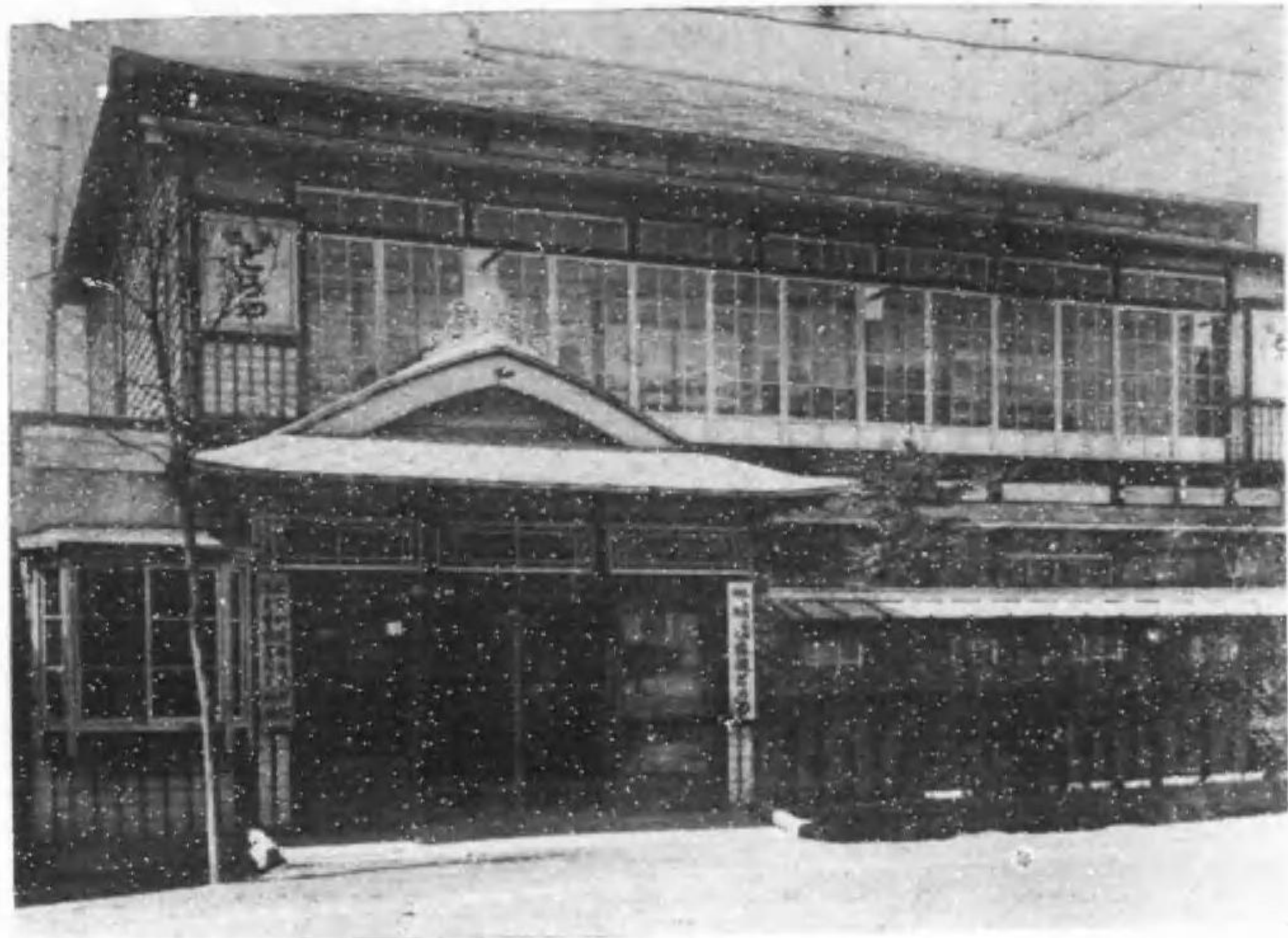
館旅屋士富

目丁三通大南  
番一二二話電

近代洋式建築三層の旅館でありまして一級旅館、客室數三二二に宿泊する所でありまして、恥かしからぬ設備を致してあります。







とらや旅館

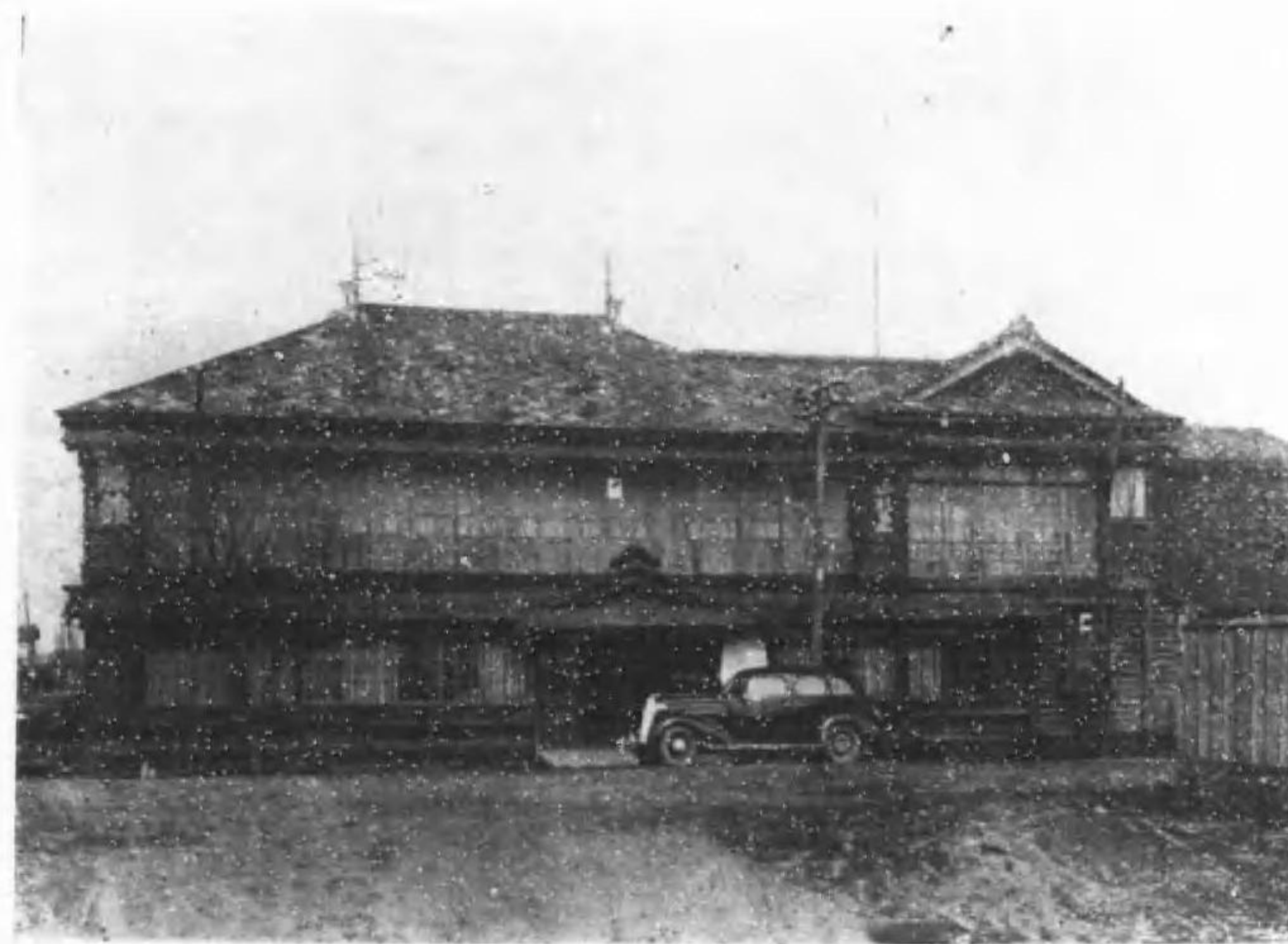
黒金町  
電話一八九番

釧路驛廣場を前にし、最も目に付く場所を占むる旅館であります。  
近年新築の館の他、住みよき室々を有し仲々繁昌して居ります。  
客室數二六を有する一級旅館であります。

山形屋旅館

黒金町  
電話一四九番

釧路驛に比較的近く位置し、室數二〇を有する一級旅館であります。  
落ちつきある座敷構や、客膳の心遣ひなき格別の趣きがあります。





## 釧路の特産土産品

観光の旅に當り常に氣に掛るは郷里に齎らす土産品の撰擇であります。北海道は海産品に名高く、取分け釧路はその北海道での海産物の名産地でありますから此所丈は觀光客にこり土産品に憫むことはありません。海産物のみが割合に豊富な木材加工品や白樺細工、又阿寒國立公園を始め近郊の風景繪はがき等土産品として極く格好な品が澤山あります。市で土産品を求めらるゝには市中では鶴屋デパートや、其他各所で賣つて居りますが、其外に釧路驛前廣場に釧路商工會議所が主催する釧路商工獎勵館經營の土産品賣場がありまして市内生産品を殆ど網羅して陳列販賣して居ります。釧路特産品協會や釧路菓子商組合員の出品販賣でもあり、信用確實な良品を賣つて居りますから土産品の買上げや、郷里への送品依頼は心置き無く出來ます。

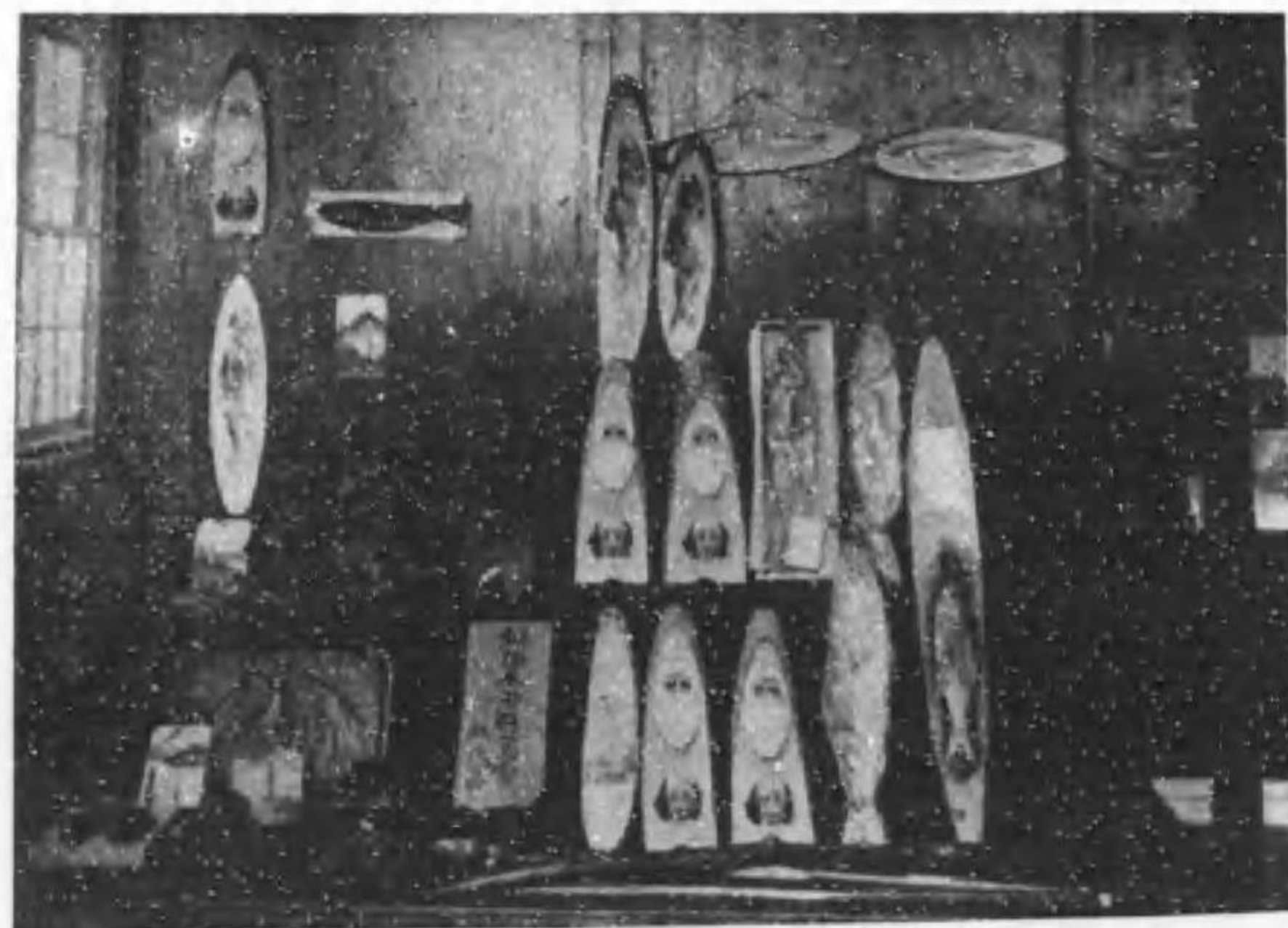
此の賣場は驛のすぐ前の廣場に極く目に付き易いですから、此處で僅かの時間でも利用して土産品を整へるに便利であります。又此の賣場には觀光案内所が附設されて居りますから、釧路市内は勿論阿寒方面の旅行に就いて案内を受け又乗物等の幹施を頼むとよろしくあります。

### 釧路商工獎勵館

市内大川町幣舞橋袂に在り釧路商工會議所に併置せられて居ります。市の物産品等を陳列し、土産品其他物産の即賣を致し居ります。釧路地方の産業状態を一覽するには、是非訪れねばならぬ所であります。又各種の取引の幹施や産業上の調査等の依頼にも應じております。

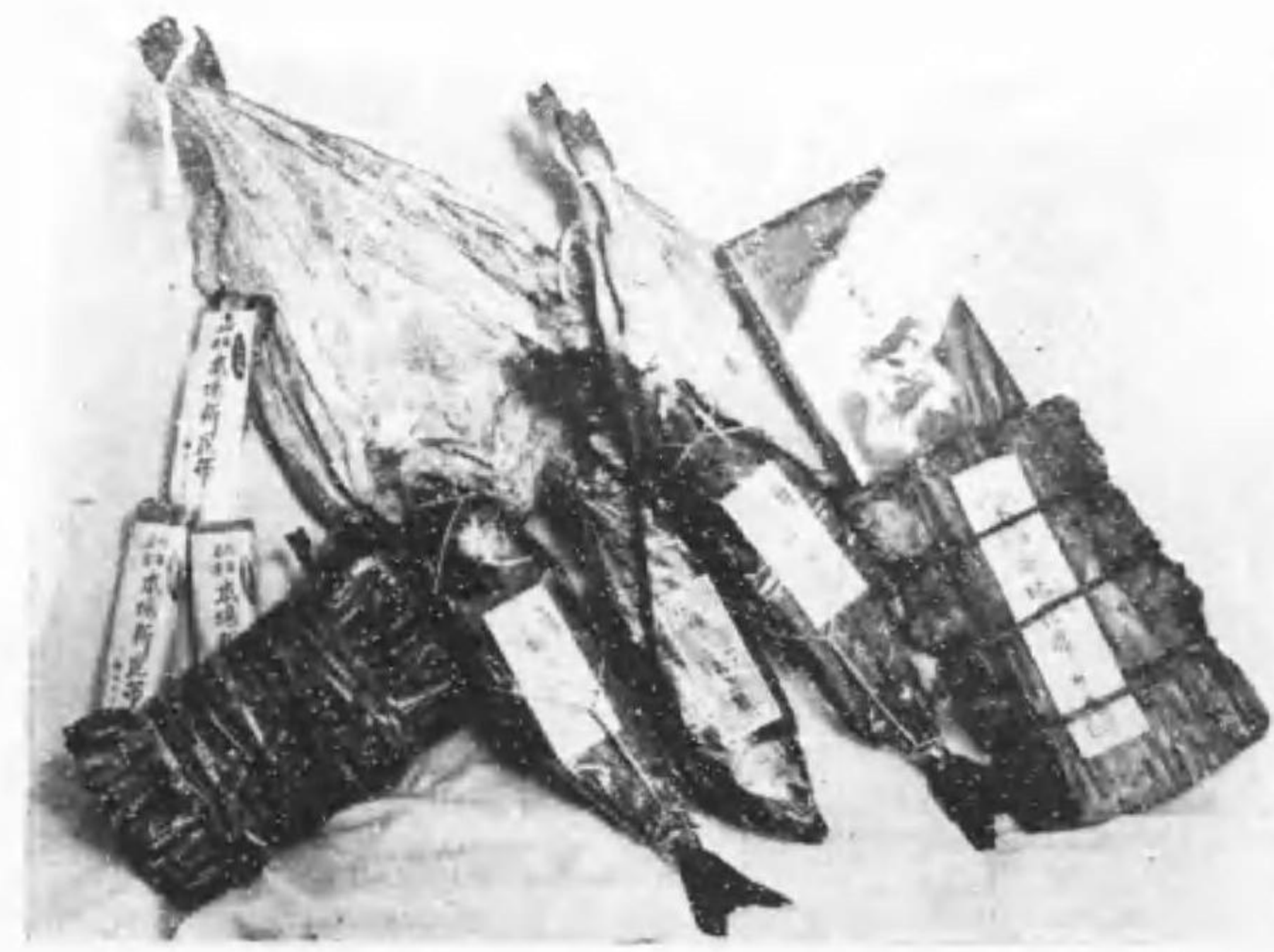
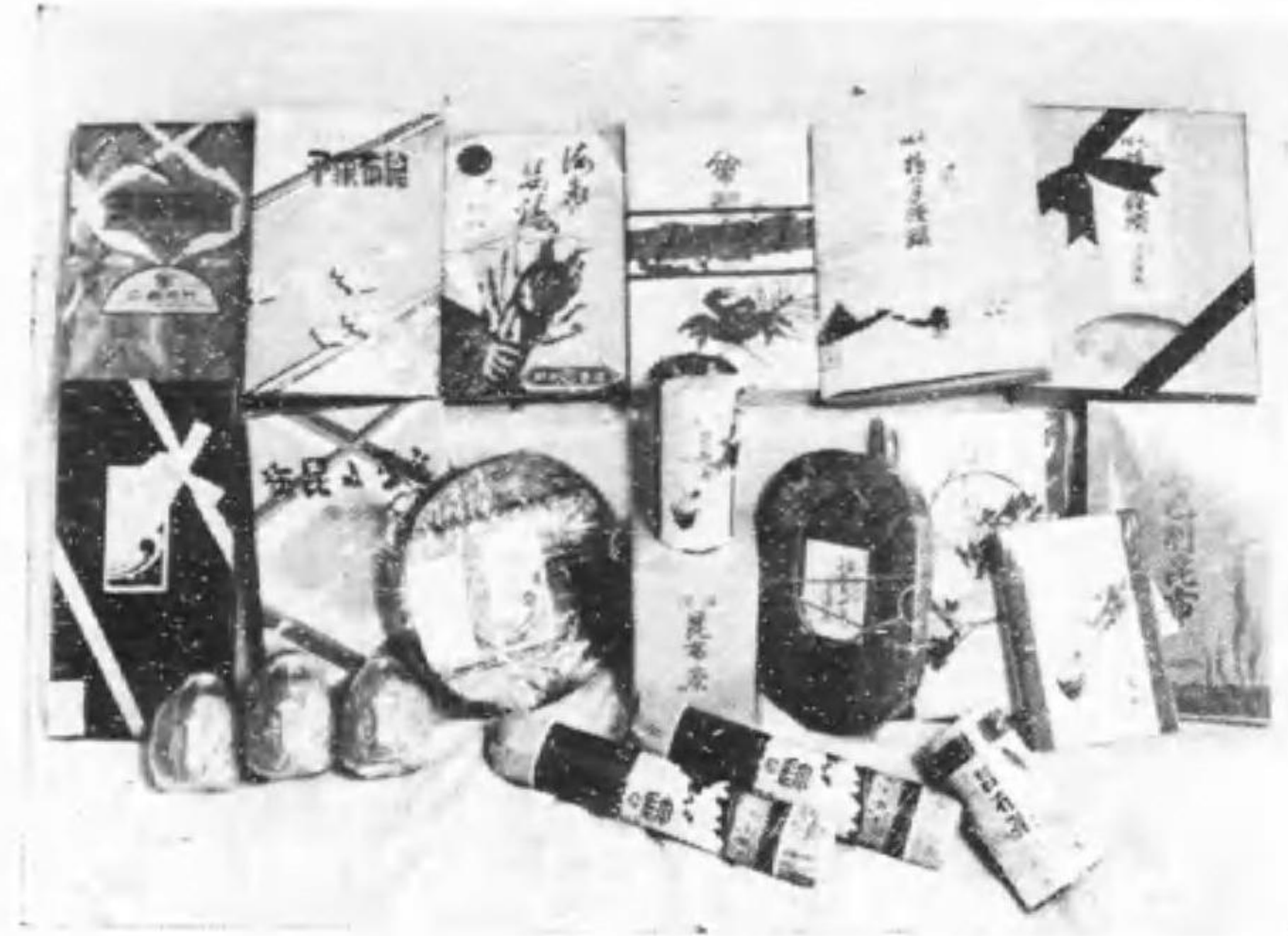
## 釧路みやげ品概略

- ◎ 昆布加工品……とろ、昆布、おぼろ昆布、刻昆布、粉末昆布、昆布茶等各様の加工品がある。
- ◎ 鱈加工品……鱈は開鱈、スキミブリック（ローラーで柔くのし）て味を着けたもの等の加工品となり、全国各地の需要に應じて居る。
- ◎ 蟹加工品……著名なタラバ蟹を原料として蟹松葉、蟹煎餅佃煮、罐詰等の加工品がある。
- ◎ 帆立貝柱加工品……乾燥せる帆立の貝柱をローラーにて押し雲丹又は味淋にて味付けしたものである。
- ◎ 鮭加工品……全国的に著名な釧路鮭の加工品罐詰、土佐煮鮭味噌等何れも本場物の土産品として各方面に賞味されて居る。
- ◎ 各種燻製……鮭、鯨、ウゴイ、姫鱈等の燻製がある。何れも近海産（姫鱈は阿寒湖産）の清鮮なるものをスモークせるものある。
- ◎ 白樺皮繪及木彫……阿寒國立公園を象徴する郷土藝術品で、万雷の如き絶讃裡に江湖に見えつゝある逸品である。





種各品げやみの路釧



碑歌木啄川石

町 米

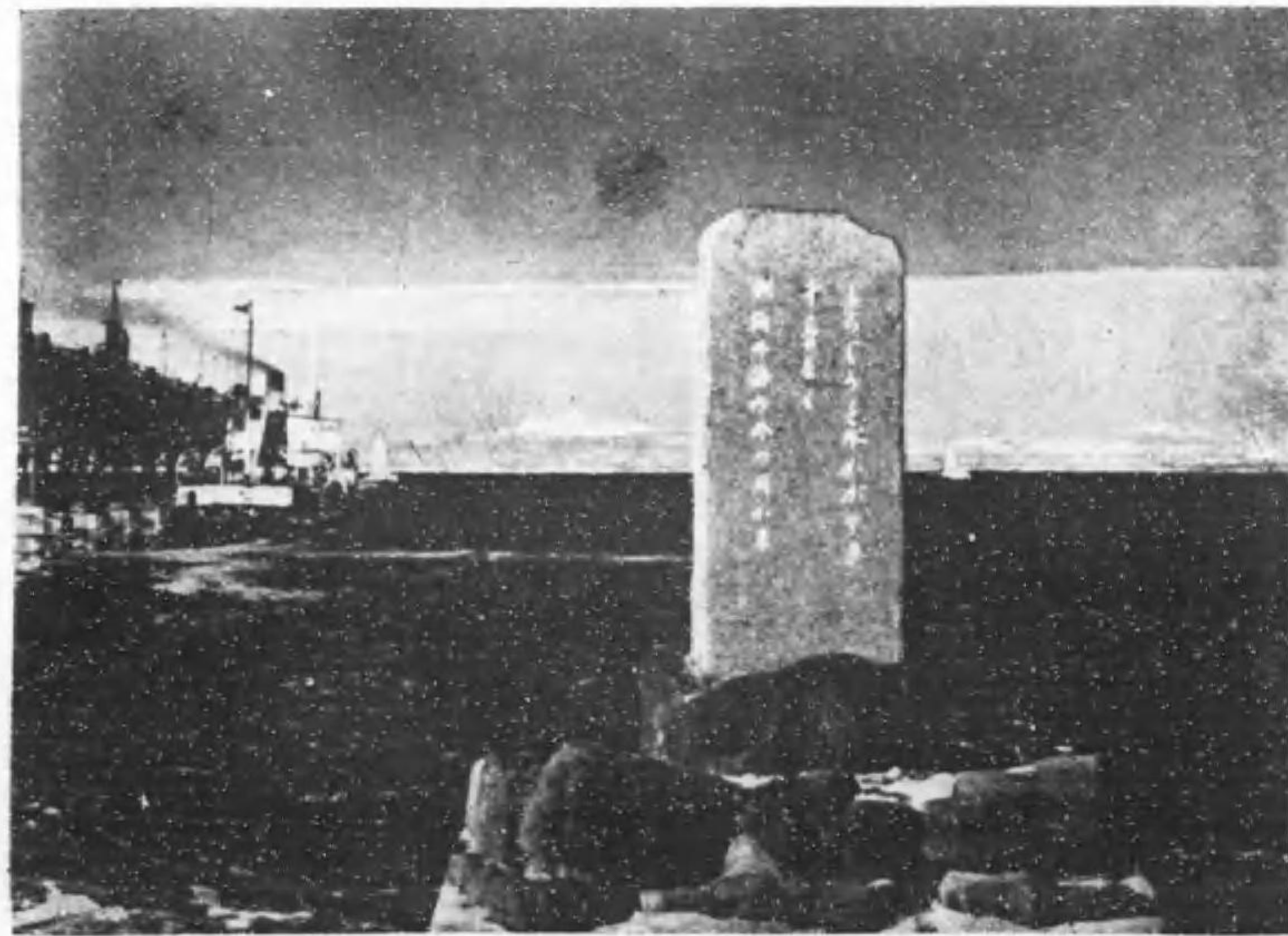
石川啄木の歌碑は知人岬の一角に薄倅の歌人を慰むるが如く立っております。昭和九年十二月「誕生五十年石川啄木歌碑」の除幕が擧げられたのであります。

碑面の歌

しらじらと 氷かがやき  
千鳥なく

釧路の海の冬の月かな

啄木は明治四十一年釧路新聞社の記者として來釧、歌人の足跡を遺し幾何も無く漂然と去つたのであります。





第二部 釧路近郊篇

阿寒 国立公園  
厚岸港、霧多布港  
野鶴の生棲地塘路の水郷  
馬 市  
近郊の礦山、大工場

松浦武四郎

朝風に白帆むしろ

帆まきあげて

西に東に船の行く見ゆ

文學博士 井上圓了

釧路地は奥住むと思ひしに

佛に近き人心かな

貴族院議員 前田利定

さびしらに根室通ひの

海のはて

見たもやの中に笛の音して

法學博士 下村 宏

見はるかす蝦夷の

廣野は遠々し

大和島根に山見ざる國あり

内ヶ崎愛天學人

くしろぢや海よりこむる

ガスふかく

黒繪の中を汽車は走れり

石川啄木

一、さいはての驛に下り立ち

雪あかり さびしき町に

人あゆみ入りにき

二、さらさらと氷の層が

波に鳴る 磯の月夜の

ゆきかへりかな

三、釧路潟千鳥なくなる

夜の波の 此の月影を

忘れてと云へ

四、神のごと遠く姿を

あらはせる 阿寒の山の

雪のあげほの

俳句

河東碧梧桐

桐蜻蛉すぎぞ這ひけり水温む

牧場にせよ野に啼く雲雀かな

大町佳月

朽木なくアイヌ四五人百合の花

大谷光演 句佛

秋風やすきもあらぬ

城塞の跡

昆布舟や久々霧の晴るゝ日に

巖谷小波

大漁の此濱にして蠅のかず

えぞか野にめづら落ちひり

はたゝかみ



俗謡

大釧路行進曲

(三木千春作  
勝見義雄作曲)

- 一、仰ぐ阿寒にさきりも晴れて  
原始の峯に朝の風  
若き港よ東の誇り  
大空かけて陽は踊る
- 二、ヘアメントに春風たてば  
若芽はもゆる街並木  
若き港よ東の誇り  
袂くるくるモダン橋
- 三、知人岬にマストはかすむ  
踊るかもめに風たより  
若き港よ東の誇り  
希望のコース乗り越えん
- 四、櫻この間に日傘が待てば  
オールしぶきの見へかくれ  
若き港よ東の誇り  
戀の春探踊る胸

公園小唄

(上村喜六作  
松平信博作曲)

- 一、霞む弟子屈ほのくあけて  
風がもて来る湯花の香り  
川湯戀しや情に濡れて  
つきぬ摩周湖涙雨
- 二、燃ゆる心をつゝじに染めて  
深き思は屈斜路の湖に  
誰れに硫黄か妾の胸を  
温泉乙女の瞳は悲し
- 三、積る苦勞は誰白雪の  
消ゆる思の阿寒岳よ  
袖に包んで麓の湖に  
映る姿につひほろり
- 四、今宵別れか口惜しうござる  
何時になつたら又逢へるやら  
和寒時雨に夕日がさせば  
阿寒お富士に虹がたつ

公園小唄

(沼澤勝彌作  
松平信博作曲)

- 一、阿寒よこ雄富士に雌富士  
乙にすました湖水の前に  
二ツ並んだ夫婦山  
ちよいと笑顔を水鏡
- 二、お島こ島の姿もゆかし  
松の翠かまりもの色か  
小波にゆるぐ島のかげ  
岸にや湯煙りほのく
- 三、和琴うれしや屈斜路湖畔  
川湯をあびて氣ものぐりと  
つゝじか岡の硫黄山  
晴れた景色に胸がすく
- 四、無垢の乙女よ飾りばせぬが  
野にも山にも自然のみその  
可愛駒草「ガンコウラン」  
香ふ鈴蘭白つゝじ

傳説と

唄の釧路

釧路郷土の傳説は和人の渡來二百年の傳説と、古へよりの先住アイヌ民族及び其以前の住民矮人の傳説とで、色々と傳へられて居ります。又和人渡來後和人と「アイヌ」との間に醸されたる傳説は特に興味深いものがあります。

現在釧路に遺されたる傳説中にも「ハルトリ」酋長「シュバチ」戦死の傳説は美しき戀物語を織交へたもので、概要を誌せば

シュバチ戦死の傳説

昔「ハルトリ」の酋長「シュバチ」に二人の子があり、兄をベチカ、妹をオセカと云ひ何れも美しき若者と乙女でありましたが、互に戀し合ひ乍ら不倫だと思ふので互に打ち明けず苦しんで居たが、其内北方五里程のシラリカの酋長がオセカを妻に貰ひ度いと申込んで來ました。「シュバチ」は娘の意を聞くも無く拒みましたので、シラリカの酋長は憤り何十人と云ふ部下を連れて攻め寄せて來ました。シュバチはハルトリの一つの丘に據つて是れを迎撃して奮戦したけれ共、遂に流矢に當つて戦死しました。

此の時、シュバチはオセカに「ベチカはお前の本當の兄ではない」と云つて冷たくなつた。シラリカ勢は守りが意外に固いので攻め倦んで退却しました然しベチカも全時に戦死したので、オセカはベチカの跡を追ひ遂に丈なす雪中に己れも冷たく死んで行つた。此の物語りを遺す爲めに今のシュバチ戦死の遺跡があるのだと申します。此の傳説の他幾多の傳説に富んで居りますが、紙面の都合上是れ丈に止めます。次に唄は傳説と共に在るものですが、和人の作に成るもの、而して作者の世に知られたものを誌せば



阿寒  
国立公園

北海道の東邊、阿寒の秘郷に千古絶佳の景色を藏して国立公園の指定に依つて

世の觀光客にデビューしました。

我が阿寒国立公園は釧路の近郊、自動車に依れば僅かに二時間の距離に在ります。風光雄大と謂はふか、艶麗優美と斷すべきか、東西十數里、南北數里に亘る原始郷は、山あり湖沼あり美林あり、實に玄妙の變化に限りなき天下の絶勝であります。

釧路より阿寒国立公園を遊覽する爲めには阿寒口よりは自動車、弟子屈口よりは鐵道に依り何れも二時間にして入るこゝが出来、道路は素より公園内の道路は極めて整へる良道であります。



(阿寒国立公園雌阿寒頂上の大觀)



(阿寒雄りよケツボを望む)



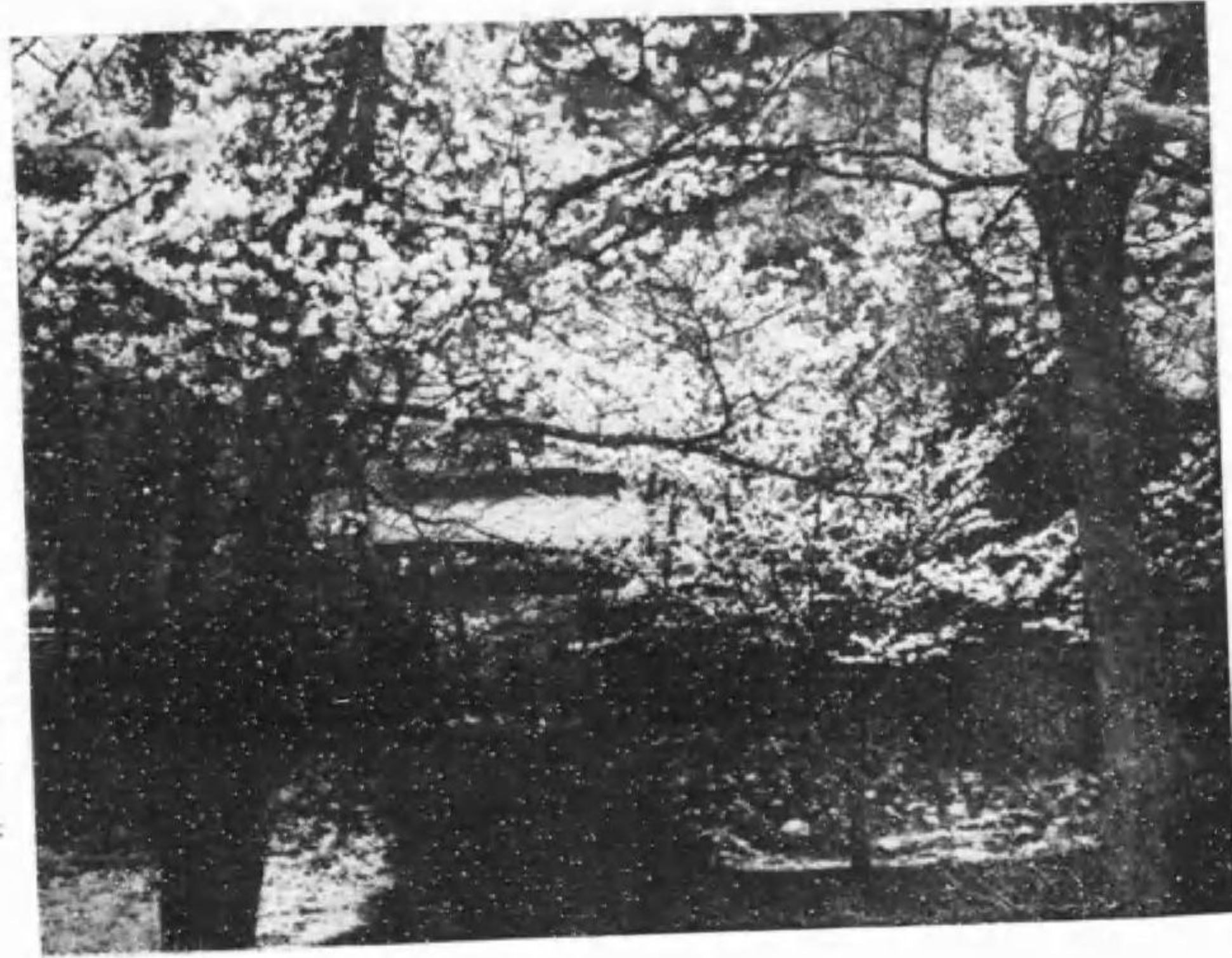
(摩周湖)



## 厚岸港

釧路驛より東方根室線に乗車一時間半にして厚岸驛に到着致します。

厚岸町は東南海岸の名邑で現在人口一萬三千を有し、海産物と漁業で名高い所であります。観光客には風光明媚の厚岸灣の風物に魅力を感じるのであります。又當港は軍事的には重要な箇所、要港にも準すべき大切な港とされて居るそうです。當地は沿革古く和人の開發に就いては釧路の先輩であります。従つて町の事情も床かしさを漂はせ、寺院等も古さび乍ら懐しさを感じられます。殊に國泰寺は境内の櫻花と寶物は厚岸を代表せる名所で、櫻花は花見頃となれば遠く釧路、根室よりの觀客に賑はひます。此の地は主なる市街は周圍七里の厚岸湖を圍



## 厚岸國泰寺の櫻

む半島の突端に在り、驛所在の眞龍町との間灣に約五町を渡船（渡船賃往復十錢）て連絡して居りますので、交通は不便を免かれませんが、夫れ丈け情趣があります。此の町には北海道帝國大學の臨海實驗場があり、又厚岸湖内牡蠣島を主産とする牡蠣が名産で、驛には牡蠣エキスを販賣し土産品として恰好であります。

## 霧多布港

霧多布港は厚岸港より更に根室の方向に四十分濱中驛にて下車、乗合自動車（賃金片道六十錢に依り約三十分で到着します。

長汀青砂、此の地には未だ世に多く紹介せられざる景勝の地であります。沖に散在する多數の島や、灣入曲浦の美景は是非探勝をお奨めする次第であります。



### 野鶴の

#### 生棲地

釧路驛より釧路線に乗じ約三、四十分の地点左右の原野、又は釧路驛より札幌方面に向ひ大樂毛驛附近に、天然丹頂鶴の生棲地があります。窓より時々其端麗なる家族鶴の團樂を見ることが出来まして、中央方面有名な畫家は來り、是れを畫題に致して居り此の地方の誇りとする景勝であります。

### 塘路の水郷

釧路驛より釧網線に一時間足らずで達する塘路驛附近は塘路湖、タツコブ湖等の水郷があり、春夏の候片舟を浮べ一日を遊ぶに好適であります。

## 大樂毛馬市

釧路國は産馬王國として知られ主要な産業となつて居りまして、其中心は釧路驛より上り三十分で達する大樂毛驛に在る馬市であります。釧路畜産組合の設立する所で、春秋に大馬市が開場せられ、近郊及び東北海道に産する良馬が集めらるゝ大馬市になります。

## 軍馬補充部及種馬場

馬産釧路は陸軍省軍馬補充部の設置でも領かるゝのでありまして、釧網線標茶驛（釧路驛より一時間半）に陸軍省軍馬補充部川上支部が設けられ、更に白糠驛（釧路驛より上り四十分）には支場があります。又全驛には種馬場の設置があります。

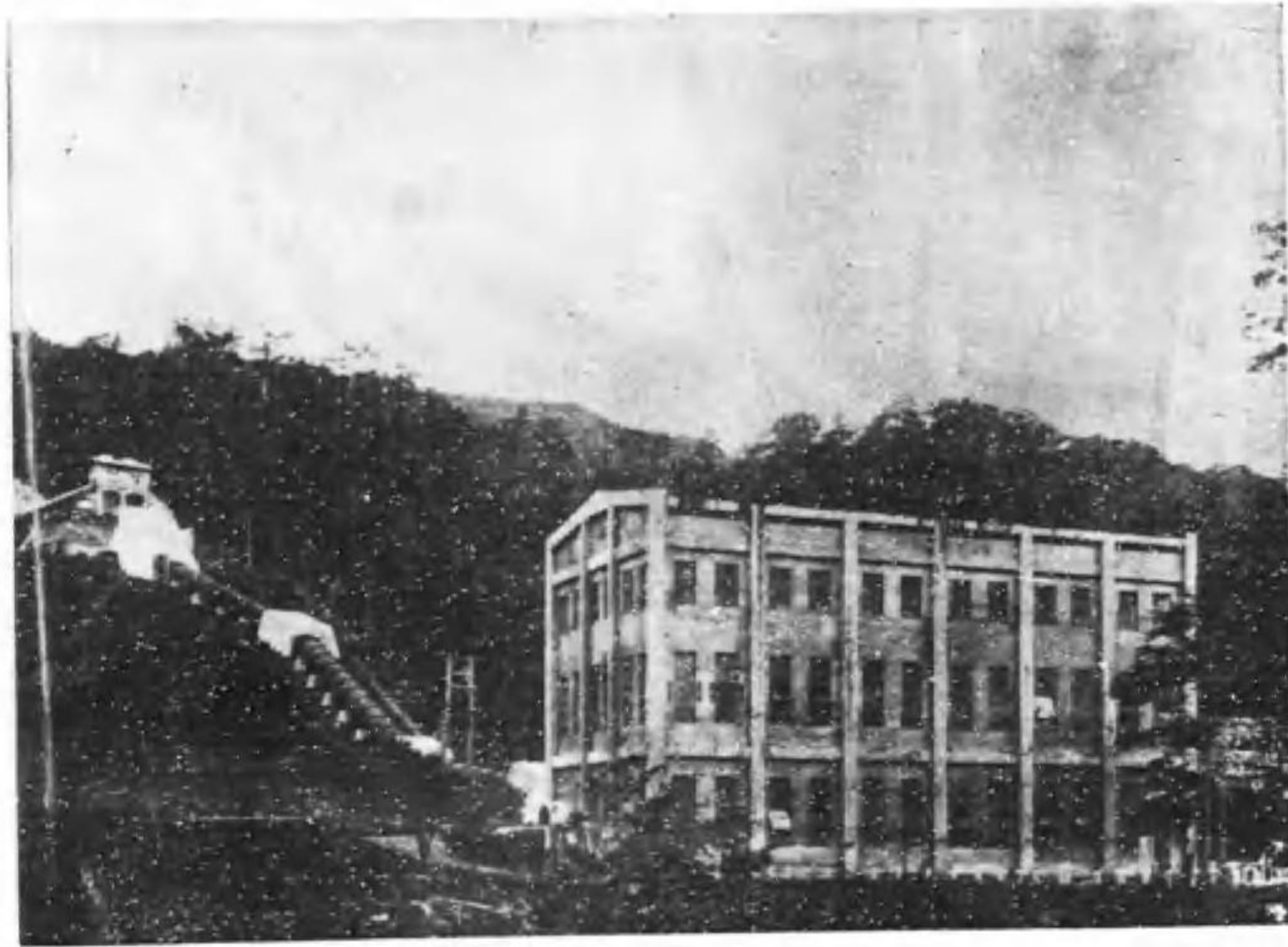
### 近郊の礦山

釧路驛より分岐する私設鐵道、雄別炭礦鐵道の到達する終点に雄別炭山があります。三菱系の炭山でありまして、釧路炭田に於て太平洋炭礦と並んで双壁となつて居り採掘高も等しく年産約三十萬噸であります。右雄別炭礦出炭の釧路市内に於ける需要は釧路共同賣炭所で供給して居ります。釧路炭田には此外、三菱系として尺別、浦幌、三井系として別保、上尾幌等の炭礦があり、又小炭礦として幾多の企業が行なはれて居ります。インフレ景氣に乗じ炭山の景況は盛んなものであります。觀光の序でを以て是等炭礦の見學も捨て難い日程の一つであります。



大樂毛の馬市





阿寒發電所

國立公園阿寒湖を源として流る、清澄なる阿寒川は、谿山の間を流下するので發電の源として重要視せられ、釧路地方の暗を照す電燈や、工場の動力となつて居ります。

阿寒發電所は第一より第四迄でありまして、何れも此の地方を供給區域とする大日本電力株式會社の經營で、釧路市に事務所を有して居ります。

王子製紙會社釧路工場

根室本線下り釧路驛に到着する一驛前、新富士驛に近く大煙筒林立の大工場を車窓に迎へます。是れ即ち王子製紙株式會社釧路工場であります。是れ即ち王子製紙株式會社釧路工場であります。工業

北海道製糖會社磯分内工場

釧網線磯分内驛近くに甜菜製糖の大工場があります。北海道製糖株式會社磯分内工場でありまして、是亦釧路郊外大工場として市と密接不離の關係に在る工場であります。



王子製紙會社釧路工場



昭和十二年五月五日印刷  
昭和十二年五月十三日發行

編輯兼發行人 成田正穂  
印刷人 佐藤千秋

印刷所 文洋堂印刷所  
印刷所 鈿路市大町一ノ八

發行所 鈿路市大川町三番地  
鈿路商工會議所

割烹 喜久本

浦見町 電話 八七九番

割烹 瀧の家本店

浦見町 電話 一一九九番



釧路の土産品ならば

珍味体裁優秀の特産品

鮭	鮭	公	鮭	鮭
乃	味	魚	味	乃
土	噌	南	噌	土
佐		蠻		佐
煮		漬		煮

其他土産加工品

製造  
問屋



合資  
會社

釧路

物産  
商會

工場

釧路市大川町二二三  
電話 五六三番

贈るに重寶……貰つて喜ばれる  
最も進歩した榮養食料

釧路名産 梅本の昆布加工品

とろ、昆布  
おぼろ昆布  
昆布茶

**三** 梅本昆布工業所

梅本與次郎

營業所 釧路市北大通十二丁目  
電話 釧路 一七七番  
替 小樽 一五三三番



酒のお蔭で  
旅は朗!!

萬人向で評判の

銘酒 千島川



香の醇芳  
て酒先はれ疲の旅

櫻日朝酒銘  
社會資合造酒日朝 元造釀



全國々立公園風景  
各地名所風景 白樺皮繪額

當所苦心の創作にして

實景其のまゝ表現高雅優美

觀光おみやげに絶大な好評

## 釧路郷土工藝品研究所

釧路市北大通十三丁目一番地

五十幡熊五郎

電話 四一五番

釧路市北大通中央

高級寫眞

繪葉書及

土産品類一切

## 前原文房具店

電話 五〇三番



喫茶と御食事  
高級御菓子

天下の甘黨

電話九三三番

御菓子司 **三** 宮地菓子舗  
宮地米造

本店 釧路市浦見町電話一四一番  
喫茶店 釧路市支應坂下電話一九三番  
平和市場賣場 釧路市北大通電話九六八番



銘酒あり！  
佳人あり！

カフェー  
安久

電話三五九番  
南大通

西洋料理  
支那料理

千草軒

電話一〇三九番  
大川町

割烹

浦見町

浦

と

出

電話五八四番

割烹

末廣町

藤

家

電話四〇八番



壽司辨當  
料理仕出し

金

大

柿崎保男

電話一七一番

和洋御料理  
壽司仕出し

魚

一

電話一〇〇三番

日本料理  
西洋料理

大万食堂



市内(遊覽)には 高級新車  
郊外

# 丸松タクシー

電話六三三番  
釧路市南大通中央

名所廻りと郊外散歩には

時代の寵児 小型タクシーを

電話一〇四四番  
釧路市末廣町

釧路市入舟町六丁目十三番地

海産魚 鮮魚 肥料製造

# ▲ 高木泰藏商店

電話三九九番



# エビスタクシー

電話 七一九番  
釧路市南大通三ノ一六

釧路市浦見町

Ⓢ 橋本組出張所

橋本博介

電話 一、五二七番  
一、一〇三番

高級・新車

# タタクシー

北大通五ノ三  
電話 七一番



# 全菊屋旅館

釧路市北大通七丁目  
電話 七七六番

觀光に……商用に……交通に……至極便利な!!

# 三島屋旅館

釧路市北大通七丁目驛前通  
電話 四八一番

# 本館 菅田福太郎

釧路市停車場前  
北大通十二丁目  
電話 一三七番

釧路第一  
御待合所

# 尾張屋

釧路驛前大通角  
電話 八二一番



日本郵船株式會社代理店  
 近海郵船株式會社代理店  
 火災海上運送保險株式會社代理店

釧路市錦町三丁目七番地



# 釧路海運株式會社

電話 一〇〇九番  
 受電略號 (クシロ・カイウン)  
 發電略號 (カイ) 又ハ(カイウン)

釧路道省指定運送取扱店  
 釧路道省指定運送取扱店



## 營業種目

- 海陸運送業
- 船車連絡貨物取扱
- 各保險代理業
- 各般ノ勞力請負

國際通運株式會社代理店

北海道釧路市黒金町一番地

株式會社

# 釧路運送社

【代表電話二二二番】





# 三井物産株式會社

木材部 釧路 派 出 員

釧路市南濱町六番地

石炭部 小樽支部釧路派出員

釧路市知人町三七番地

# 雄別炭礦鐵道株式會社

雄 別 炭 礦 業 所

釧路國阿寒郡舌辛村



釧路市大町四丁目



株式會社

安田銀行釧路支店

電話六、一一、四〇番

釧路市南大通六丁目



株式會社

北海道拓殖銀行釧路支店

電話一七、五五九、八七〇番

釧路市南大通三丁目



株式會社

十二銀行釧路支店

電話十二番

資本金  
設立  
本店  
契約高

拾五萬圓  
大正七年六月  
北見國野付牛町  
五百萬圓

釧路市大川町



一力無盡株式會社  
釧路出張所

電話三二番

取締役社長

伊谷半次郎

專務取締役

中島權太郎

釧路出張所長

淺野鐘太郎



オフセット  
印刷

# 藤田平版所

釧路市末廣町  
電話五八五番

大衆印刷物  
高級印刷物

活版  
石版  
製本



# 文洋堂印刷所

釧路市大町一丁目八番地  
電話二五五番  
振替口座小樽四四一一番

製品優秀  
期日正確







373  
101

良  
い  
お  
酒

# 北の譽

年産 一萬石  
道産酒の王者

醸造元 小樽、札幌、旭川  
 営業所 小樽、札幌、旭川、  
 釧路、岩見沢、夕張、  
 士別、大泊、網走、  
 青森、大泊、豊原、  
 真岡

株式 釧路市  
 野口商店出張店

電話 三三一 一番  
 振替口座小樽一七三一七番



の 別保炭  
 春探炭

三井物産株式会社石炭部  
 三菱礦業株式会社 特約發賣元

釧路市南大通二丁目三番地

株式 共同賣炭所  
 會社

電話 八三三、八三八番  
 一八三、六七七番



の 雄別炭  
 尺別炭



終

